

東京秋工会会報

KANASA

金 砂

現在の新校舎



2008
VOL.16

懐かしの旧校舎



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会東京支部

東京秋工会ホームページ

<http://www.akiko-tokyo-dosokai.org/>

平成20年度 東京秋工会総会・懇親会のご案内

東京秋工会会員 各位

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃から、東京秋工会の活動に格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の東京秋工会の総会を下記により開催しますので、ご案内いたします。

「講演」は、母校秋田工業高校を卒業後長年海外のプラント建設に携わってこられた「大沢由雄（昭和31年機械卒）」さんから、厳しい、また楽しい海外での思い出話をさせていただきます。

また、コンサートとして平成16年開催し大変好評だった「岩見谷洋志（昭和41年電気科卒）さんと中谷麻利江さん」に再登場していただき、「歌とギターによる秋の屋下がり」と題して、懐かしい心温まる名曲を演奏させていただきます。楽しい会になるものと思います、ご期待ください。

近年、総会を同級会の1次会として利用される方々が増え、年々総会の賑わいが増しております。同級生、ご家族、友人などお誘いのうえ多数のご参加を頂きたく、心からお待ち申し上げます。

記

1. 日 時……………平成20年11月15日（土曜日）

開 場 午後0：00受付開始

総 会 午後1：00～1：30 会務報告・会計報告・規約改正

講演会 午後1：30～2：00 大沢由雄（昭和31年機械科卒）

トーク 午後2：00～2：40 「歌とギターによる秋の屋下がり」（出演者下記）

懇親会 午後2：40～4：30 同窓生演芸会（詩吟・尺八・民謡・応援歌etc.）

2. 場 所……………アルカディア市ヶ谷（私学会館）【JR・地下鉄市ヶ谷駅から徒歩2分】

3. 総会費……………男 性 7,000円

女 性 5,000円

4. 年会費……………会 員 3,000円 ※総会に参加される方は、当日会場にてお受け致します。

5. 出欠回答期限……………平成20年9月30日までに投函願います。

歌とギターによる秋の屋下がり



岩見谷洋志（昭和41年電気科卒） 中谷麻利江
【・演目・プロフィールは31ページを参照願います。】

アルカディア市ヶ谷（私学会館）



東京都千代田区九段北4丁目2番25号
TEL 03-3261-9921（代表）



校歌

相馬御風 作詩
宮原禎次 作曲

一、 太平山の凜たる勇姿

清河旭の淀まぬ心

勤労の精 質実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光 世界を輝す

二、 物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気 不断の努力

金砂健児の勢い見よと

黒煙日毎 天へと沖す

三、 進みて止まぬ科学の力

我が身に体し工業界の

未来の使命肩にと担う

金砂健児が御国に誓う

忠誠これぞ 不滅の力

秋田工業高校 校歌

たいへい ざんの りんたる ゆうし
 せいがあ さひの よどまぬ ところ
 きんろう のせい しちじつ のとく
 かなさ - けんじの ゆびさす とくろ
 きぼうの ひかり せかいを てらす



もくじ

校歌		1
会長就任あいさつ	三平 俊悦 ● 昭和39年建築科卒	3
会長退任あいさつ	澤木 誠一 ● 昭和26年電気科卒	4
平成19年度 総会・懇親会報告	工藤 良 ● 昭和36年機械科卒	6
平成19年度 会務報告	三平 俊悦 ● 昭和39年建築科卒	8
平成19年度 会計報告／監査報告		9
柔と剛の恩師 (高桑栄一・佐藤忠男両先生を偲んで)	佐々木福松 ● 昭和40年建築科卒	10
秋工のマーチング	高橋 保子 ● 秋田工業高等学校吹奏楽部顧問	12
秋田「わか杉国体」応援ツアー	伊藤 昭 ● 昭和36年機械科卒	13
全国高校駅伝の母校応援	小野 鐵雄 ● 昭和38年土木科卒	14
秋工ラグビー部夏合宿応援	加賀谷健治 ● 昭和36年電気科卒	15
連載エッセイ「たまげた出会い」他	笹渕 茂 ● 昭和21年冶金科卒	16
会員寄稿・M36年ミニ同級会	斎藤 隆 ● 昭和36年機械科卒	18
母校たより	加賀谷健治 ● 昭和36年電気科卒	20
会員寄稿・異郷で暮らす	大沢 由雄 ● 昭和31年機械科卒	23
会員寄稿・私の東京秋工会ライフ	地主 勝己 ● 昭和37年土木科卒	24
会員寄稿・古希という通過点	細矢 育夫 ● 昭和31年機械科卒	25
会員寄稿・還暦を迎えて	奥山 恍 ● 昭和41年科学科卒	26
会員寄稿・電気科に学んで、今がある	須田 次彦 ● 昭和50年電気科卒	27
伝言板		28
けやき会		28
秋高連		30
詩吟同好会		30
パソコン同好会		30
尺八同好会		32
ゴルフ同好会		33
囲碁同好会		34
ハイキングクラブ		35
釣り同好会		36
東京秋工会規約 改正(案)		37
東京秋工会 役割組織図・役員幹事		38
哀悼		39
編集後記		39
賛助広告ご協力企業一覧		40

科別表記一覧

機械科=M	電気科=E	情報技術科=J	土木科=C	土木・地質科=CG	建築科=A
採鉱科=S	地質工業科=G	地質工学科=G	冶金科=Y	金属工業科=H	材料技術科=Z
工業化学科=K	産業科=L M	定時制機械科=TM	定時制電気科=TE		

新会長あいさつ



東京秋工会 会長

三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)

東京秋工会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

日頃、東京秋工会のため、暖かいご理解とご支援賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私こと平成19年11月17日(土)の同窓会総会におきまして、幹事会の審議答申のもと澤木前会長の勇退をうけて、会長に選任されました。澤木前会長は、22年にわたる長い間、東京秋工会発展のため多大な貢献にご尽力なさいました。大変ご苦労様でした、心より感謝申し上げます。今後は、名誉会長として、何かとご助言いただきたくよろしくお願い致します。

会長に推薦していただいたのは、東京秋工会諸先輩のおかげと感謝いたしております。微力ながら同窓会発展のために心に決意した次第です。

会長を引き継ぐことになり、今まで諸先輩方が築かれた質実剛健の校風と伝統を守り更に一層発展させたいと心を引き締めております。果たして私のような者がその大役をになうことができるか心もとない思いでございます。

会員及び、幹事の皆様の力添えとご協力を得ながら、重責をまっとうしたいと思っております。よろしくお願い致します。

充実を図り、同窓会員へのサービスを向上させます。

3. 会員相互の親睦活動の推進

総会や同好会および各種イベントを充実させることにより、同窓生相互の「きずな」を深め、生涯学習や娯楽の場を提供し、会員の生きがい増進を図ります。

4. 会員が携わる業務上の情報交換

会員が携わる業務の発展に向けて、東京秋工会ホームページなどを活用し、異業種連携、現役退職者のスキルの活用など、会員間の互惠関係の推進を図ります。

5. 母校の発展に寄与

各種運動部、文化部の全国的な活躍に対し、積極的な支援活動を行います。

以上のように、会員の皆さんに満足していただける同窓会をつくり、次世代に安心して継承できる同窓会にするため、幹事、役員、一層の努力をして、一歩ずつ着実に進めてまいりますので、会員の皆様におかれましては、年会費の納入を始め、同窓会活動への積極的協力をお願い致します。

最後に、会員皆様のみならずご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。ごあいさつと致します。

私の活動目標

新体制のもとに「本会の目的」を実現するために、行動指針を次の通り設定し実行します。

1. 同窓会組織の充実

- 1) 各年次の幹事を選任し幹事間の意志の疎通を図ることにより、幅広い年齢層に受け入れられる同窓会の活動を目指します。
- 2) 地域同窓会、各部OB会などと連携し、組織の充実を図ります。
- 3) 同好会の更なる充実を図り、参加者を増やします。

2. 広報活動の充実

会報「KANASA」および「東京秋工会ホームページ」の内容の更なる



東京・新橋でふるさとの家庭料理を!

馬刺、とうふのみそ漬け、辛子レンコンなど懐かしい郷土の逸品と、種類も豊富な球磨焼酎があなたをお待ちしております。



大岩 禎子 (熊本県出身)

居酒屋 **扇里** TEL. 03-3580-8974 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビルB1

退任のごあいさつ

東京秋工会名誉会長
澤木 誠一 (昭和26年電気科卒)



昭和62年(1987年)に谷藤正三 元会長(昭和12年機械卒)から引き継ぎまして約20年間会長職を務めさせて頂き、昨年の総会にて三平俊悦 会長にバトンタッチすることができました。

この長い間、無事会長を務めることができましたのはひとえに皆様様の御指導、御支援によるものであり、心から厚く御礼申し上げます。

三平 新会長には皆様様から私がいただきましたと同様の一層のご指導、激励、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

私の会長在任中では秋工ラグビー部が昭和62年(1987年)度全国大会で優勝(15回目)し、東京プリンスホテルで盛大に祝賀会を開くことができましたこと、「秋田ワールドゲームズ2001」開催に参画できたこと、平成16年(2004年)母校創立100周年記念式典に出席できましたこと等色々楽しい思い出があります。

また、東京秋工会の会報「KANASA」第1号を平成5年(1993年)に発行し、それ以来今日までに第16号を数えるようになりました。

そしてこの会報「KANASA」を媒体として皆様に種々の情

報を提供して参りました。この結果東京秋工会への皆様の理解が深まり、会員同志のコミュニケーションがはかられ、平成11年度には会費納入者数がわずか106名でしたが、平成18年度には248名にまで増加致しました。

今後も益々会員数が増え東京秋工会が益々発展することを念願する次第です。

私は戦中、戦後の学制改革により母校に昭和20年(1945年)から昭和26年(1951年)まで中学、高校として6年間在籍し、今の人たちの3年間より、倍多くお世話になりました。

東京秋工会会長として母校にいささかながらのご返しができたものと思っております。

また、昭和34年(1959年)から弁理士として澤木萬國特許事務所を開設し、現在は長男紀一と共に現役を続けております。今後共よろしくお引き立て下さるようお願い致します。

大変簡単ではありますが、これをもちまして私の退任のあいさつとさせていただきます。



平成元年7月12日 佐藤忠男校長と



平成14年7月12日 秋高連総会 寺田知事と



平成13年 ワールドゲームズ2001



釣り同好会



平成15年秋旭日双光章受章 祝賀会 小野清子大臣と



平成15年秋旭日双光章受章 祝賀会

工業高等学校 創立百周年記念祝



平成16年 秋田工業高校創立100周年祝賀会

澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一
(昭26 電気科卒/東京秋工会名誉会長)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com

平成19年度 総会・懇親会報告

東京秋工会副幹事長／ホームページ担当
工藤 良 (昭和36年機械科卒)



平成19年度の東京秋工会総会は平成19年11月17日(土)午後1時からアルカディア市ヶ谷(私学会館)で、来賓・会員(ご夫婦・ご家族)の出席を頂き和やかに賑やかに開催されました。

《第1部 東京秋工会総会》

総会に先立ち、昨年の総会以降に逝去された故佐々木昭夫監事他16名の会員への黙とうを行いました。

引き続き澤木会長のあいさつ、会務報告・会計報告・監査報告・役員改選が行われ満場一致で承認されました。

最後に新幹事の紹介で第1部が終了しました。

・来賓紹介／出席のご来賓は以下の皆さんでした。

- | | |
|----------------|------------|
| 秋田工業高等学校 | 熊谷校長、中野教頭 |
| 同窓会本部 | 太田会長、原田幹事長 |
| 東海支部 | 吉田副会長 |
| 東京雄水会(秋田商高同窓会) | 浅間会長 |
| 秋田市東京事務所 | 佐藤所長 |



講演・金工学博士(38C)



澤木会長挨拶



会計報告(鷺谷副幹事長)



新会長挨拶(三平新会長)



澤木前会長へ花束贈呈

《懇親会(第2部)》……司会は佐々木副幹事長・伊藤幹事



鎌田顧問の発生で乾杯



会場は急ににぎやかに

《ジョイント・コンサート》



村井忠一氏(37E)



ピアノは羽毛田さん

《懇親会(第1部)》……司会は染谷副幹事長



尺八
都山流尺八楽会(鈴木師範)



来賓ご祝辞(熊谷校長)



ボーカルは大越さん(秋田市出身)



秋工吟詠会



尺八+ハーモニカ



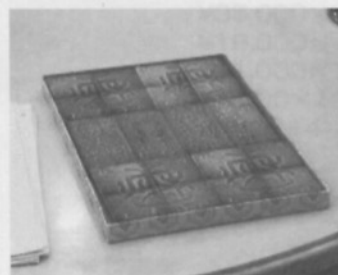
なまはげ登場



応援歌 (応援団長：伊藤氏)



(会場の懇親風景)



閉会の挨拶



「あっという間の再会でした。皆様ご健勝で次回はお家族・今回欠席の友人もお誘い合わせて、お会い出来る日を楽しみにしております」

志賀顧問



またお会いしましょう

この会報『金砂』の写真では『物足りない』とお思いの方はホームページ (<http://akiko-tokyo-dosokai.org/>)【会員ページ】にも総会の様子を掲載しています。

写真はダウンロードすれば、A4サイズまで拡大可能なデータを貼り付けてあります。是非アクセスしてご覧下さい。

なお、【会員ページ】入室に必要なパスワードはホームページからお問い合わせください。

平成19年度 会務報告

●平成19年4月1日～平成20年3月31日

平成19年	4月	21日	KANASA編集会議／アルプスランドプロパティーズ
	5月	19日	KANASA編集会議・会計監査／唐木田中組集会所
		22日	KANASA編集会議・印刷依頼・株式会社ミイレー
	6月	3日	第31回ゴルフ会／ワイルドダックカントリークラブ
		15日	幹事会／理窓会館
		16日	KANASA編集会議・校正／株式会社ミイレー
		30日	囲碁同好会／いずみ囲碁サロン八重洲
	7月	17日	秋高連総会／アルカディア市ヶ谷
		20日	KANASA編集会議／株式会社ミイレー
		26日	KANASA編集会議／株式会社ミイレー
	8月	11日	KANASA発送準備／アルプスランドプロパティーズ
		14日	菅平ラグビー合宿激励／菅平ラグビー場
	9月	29日	囲碁同好会／いずみ囲碁サロン八重洲
		28日	「志賀英一お祝い会」準備会・秋工ROB会と共催／朝日新聞会館
		29日	秋田わか杉国体開催式参加
		30日	秋工本部、東京合同ゴルフ会／椿台CC
	10月	2日	在京秋田市政情報交換会、幹事会／東京秋田市役所
		14日	BIG18 ジャズコンサート／厚木文化会館大ホール
		27日	秋田のお酒で乾杯／日本青年館3F国際ホール
		27日	総会準備打合せ／アルカディア市ヶ谷
	11月	2日	幹事会、関東ラグビー協会会長就任「志賀英一お祝い会」 ／銀座sun-mi高松7丁目店
		8日	秋田市政情報幹事会／東京秋田市役所
		11日	詩吟同好会／唐木田中組集会所
		17日	総会、懇親会／アルカディア市ヶ谷
		21日	在京秋田市政情報交換会／スクワール麴町
		29日	秋高連忘年会／九段会館
	12月	1日	第32回ゴルフ会／熊谷ゴルフクラブ
		15日	囲碁同好会／いずみ囲碁サロン八重洲
		15日	マーチングバンド全国大会／埼玉スーパーアリーナ
		22日	全国高校駅伝大会・開会式／京都市西京極体育館
		23日	全国高校駅伝大会／京都市西京極競技場
平成20年	1月	19日	秋工会幹事会、新年会／音羽亭
		21日	秋高連小委員会／理窓会館
		24日	けやき会（秋田市政情報交換会）／スクワール麴町
	2月	8日	KANASA編集会議、幹事会／アルプスランドプロパティーズ
		14日	秋高連委員会／理窓会館
		24日	秋田ひえばなの会「秋田内陸縦貫鉄道、いままで、いま、これから」／法曹会館
	3月	8日	KANASA編集会議、幹事会／アルプスランドプロパティーズ

平成19年度 会計報告

●平成19年4月1日～平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
* 前年度繰越金	462,772	* 総会費用	846,502
・ 前年度収支繰越金	446,772	・ アルカディア市谷総会費用	700,315
・ 前年度預り金繰越金	16,000	・ コンサート出演料、他	146,187
* 年会費 ¥3,000×243名	729,000	* 総会準備費用	200,648
* 総会費	701,000	・ 総会案内発送料(1,555通)	120,328
¥7,000×98名	686,000	・ 総会案内返信ハガキ印刷3500枚	27,300
¥5,000×3名	15,000	・ ハガキ、切手代、その他	53,020
* 総会費御祝儀	67,000	* 会報制作費	511,820
・ 秋田工業高等学校学校長	10,000	・ 会報KANASA・印刷費(2,000部)	425,250
・ 秋田工業高等学校教頭	10,000	・ 広告制作費 他	86,570
・ 同窓会本部長	10,000	* 交際費	80,000
・ 同窓会本部幹事長	10,000	・ 関西支部／東海支部総会御祝儀	20,000
・ 同窓会東海支部	10,000	・ 東京雄水会総会御祝儀	10,000
・ 東京雄水会	10,000	・ 故東海林正隆元同窓会長葬儀香典花代	30,000
・ 秋田市東京事務所	7,000	・ ラグビー、駅伝支援	20,000
* KANASA広告料	433,000	* 広告費 ・ 秋田魁新報社	31,500
¥35,000×2件	70,000	* 交通費	76,990
¥16,000×5件	80,000	・ 東海支部、関西支部総会出席	40,810
¥11,000×12件	132,000	・ その他	36,180
¥7,000×12件	84,000	* 諸会費	23,000
・ 広告作成費 14社 14件	67,000	・ 平成18年度 秋高連年会費	10,000
* 寄付金		・ 平成18年度 けやき会会費	10,000
・ ゴルフ部会／幹事会 会員5名	117,644	・ 他	3,000
* 幹事会 会費 5件	154,230	* 幹事会費 会場費／弁当／飲物他	220,801
* 雑収入 4件	6,495	* 諸雑費	125,936
・ 預金利息、	495	・ 振込手数料／通信費	58,682
・ 他	6,000	・ 物品費等	67,254
* 預り金 前年度預り金の処理	(16,000)	* 次年度繰越金	537,944
●収入の部合計	2,655,141	●支出の部合計	2,655,141

※本会計は現金主義の会計制度を採用していますので、未収未払は計上しておりません。

●上記の通り決算報告いたします。
平成20年4月30日

会 長 三平 俊悦
幹 事 長 小野 鐵雄
財務・会計 鷲谷 雄作・奥山 悦

平成19年度監査報告

●上記の決算書を監査した結果、適正のものと認めます。
平成20年5月10日

監 査 鈴木 彦之
監 査 高橋 陽之助

柔と剛の恩師

ラグビー黄金時代を築いた名監督 高桑栄一・佐藤忠男両先生を偲んで

●平成19年4月1日～平成20年3月31日

佐々木 福松 (昭和40年建築科卒)



平成18年は秋工ラグビー一部関係者にとって忘れられない年となりました。2月8日には高桑栄一先生が、そして10月26日には佐藤忠男先生がご逝去されました。ご両人が秋工ラグビー部の歴史構築に多大な貢献をしたことは万人周知の事実です。この機会にご両人の偉業をしのびたい。

私は昭和37年4月に秋田工業高校へ入学すると同時にラグビー部に入部し、以降現在に至るまでラグビーと共に人生を歩んできました。高桑先生はラグビー一部部長、そして佐藤先生はラグビー部監督の立場にあり、ご両人にはラグビーの技術は当然であるが、人間としてのあるべき精神を厳しくたたき込まれました。私の高校時代を振り返ると「柔」の高桑先生、「剛」の佐藤先生とのイメージが強く、本稿ではあえて区分します。

高桑先生について

先生がラグビーを指導・教育する基本理念を、昭和51年4月発行の「秋工ラグビー50年史」に投稿されている。ここに、その文面を抜粋して紹介します。

“伝統”「守成」

ラグビーを通じての教育

「スポーツは勝つことが目的ではない、参加することに意義がある」という言葉があった。しかしなお勝つことが最終目的であり、それに我々は生きてきた。

優勝の前提条件

日常生活の厳しい指導、精神教育・人間育成の徹底である。終戦直後、思想の混乱荒唐した国土の中で、質実剛健を校是とする秋田工業に、伝統のラグビー復活の声があがった。

精神教育3カ条

「正しい服装」・「礼の教育」・「清掃の徹底」
以上の3カ条によって、生徒の根性を養成しようとした。日常生活をきちんと守れない者は、グラウンドに出ても技術の向上は停滞し、最後の気迫においても一段と劣ってくる。この点日常指導が、単なる技術指導よりも非常に大きいことを知る。

和と犠牲心

体力や技術においてやや劣ると見られるチームが、一段強い相手をしのいで勝つことがある。人々はこれを番狂わせというが、勝つ原因は全く偶然でない。



そこには表面に見られない、団結力と気力の充実があったからである。ラグビーは格闘競技であり、チームプレーであるだけに、より以上の根性と闘志が絶対条件であり、チームとしての和と部員各自の犠牲心が特に強く要請される。

信頼される指導者に

クラブの指導者は常に責任を忘れず、強い信念をもって指導にあたり、特に父兄とは親睦を密にし、生徒の進路については、その希望を達成させるため最善の努力を尽くして全員に安心感を抱かせることが、クラブの維持上大切なことである。又我々が日常生活において、彼らと生活を共にし、肩を組み合い、汗と涙を分かち合っていく中で、何の紛争が起こりえよう。

以上の指導方針に基づき、私たちは育ってきました。

こんな厳格な先生でしたが、最愛の奥様が平成17年12月13日ご逝去されました。その後3ヶ月経ないうちに、奥様の後を追ひ、いつてしまいました。

佐藤先生について

先生の著書『精魂尽くして颯爽たり』の目次で「全国大会連続出場ならず」「秋田市立高初の単独出場」「遠い全国頂点への道」「ついに12回目の栄冠」「監督の責任問題」「練習について」「不運の抽選負け」「学校内外ともスポーツに燃える」「創立60周年を飾る」「レベル接近 難しい制覇」と騒々しい表題で表現されているのが、私の秋工時代の出来事である。部史におけるう余曲折の時代であったと思います。

この混迷する時に先生はラグビー部の活動目標として、

- ①練習と研究を通じて、不可能を可能にする過程を自ら習得できるようにする。
- ②基本的な生活態度を厳正にして、生活とスポーツの関連を学ぶ。
- ③ラグビー競技の高まいた精神と、秋工ラグビーの存在の意義を対応させて、明るく正しい活動が出来るようにする。

以上3項目を原点到に、我々を指導・けん引していただきました。

ラグビーの技を仕込むばかりでなく、人間を育成することも含んでいました。これまでの指導に感謝で一杯です。

先生の教え子として40余年間接してきて、報告することは多々あり



ますが、ここでは思い出深い出来事を紹介することにします。

●高桑先生をしのぶ会でのこと

平成18年7月30日、秋田キャッスル・ホテルで「高桑先生をしのぶ会」が挙行された。先生が病いで入院療養されていることは聞いていましたが、当日は車椅子で参加されて、各テーブルを回って私のテーブルにも来られました。私は「先生!おからだ大丈夫ですか?」とたずねると、「うん!〇〇病で療養中だ!」という。しゃべる様子・挙動は健康人とかわらない、気丈者だった。

●OBになってもグラウンドに来て、現役と一緒に走るの当然

学生時代の夏休み、友人のところへ遊びに行き、秋工の練習に2日ほど顔を出さなかった。「なぜ来なかった」と問い詰められ、後輩と毎日練習しろと怒られる。

高桑栄一先生のプロフィール

- 1910年(明治43年) 男鹿市脇本にて誕生
- 1931年(昭和6年) 秋田工業高校卒業
- 1946年(昭和21年) 秋田工業高校赴任
ラグビー部の指導にあたる
(在籍時のラグビー部戦績)
全国高等学校大会 優勝 11回
準優勝 2回
国民体育大会 優勝 12回
- 1946年(昭和21年) 秋田県ラグビーフットボール協会理事長
- 1950年(昭和25年) 全国高等学校体育連盟
ラグビーフットボール副部長
日本ラグビー協会評議員
- 1951年(昭和26年) 秋田県ラグビーフットボール協会副会長
- 1955年(昭和30年) 秋田県体育協会常務理事
- 1957年(昭和32年) 秋田県スポーツ功労賞受賞
- 1971年(昭和46年) ラグビー日本高校代表カナダ遠征副団長
秋田工業高校退職
- 1982年(昭和57年) 勲五等瑞宝章受章
- 2006年(平成18年) 2月8日逝去(享年96歳)



故小畑知事より寄贈



両先生が在任時、ラグビー部に授与されたトロフィーの数々。(母校展示場)

●スキーマの思い出

帰郷しているとき、練習参加で学校へ顔を出した。先生が秋工の先生たちと「八幡平 孫六温泉」に宿泊し山スキーへ行くという。スキーは得意でないが参加した。母校の気さくな先生たちと、スキー遊びをし、酒を飲み、温泉に入った。高校時代は煙たい先生だったが、皆さんは気さくな人だった。

「柔」の高桑先生は、生徒がラグビーに没頭できる環境をつくる。陰で生徒を支えることに専念した人であり。他方「剛」の佐藤先生は試合・練習の現場で生徒と一緒に走り回りながら、ラグビーの厳しさを指導した人でした。

いずれにしろ、「秋工ラグビー部の歴史はご両人の貢献によりできた」といっても過言ではあるまい。

佐藤忠男先生のプロフィール

- 1929年(昭和4年) 秋田市新屋町にて誕生
- 1947年(昭和22年) 秋田工業高校卒業
(ラグビー) 全日本学生東西対抗東軍代表
(ラグビー) 全日本三地域対抗関東代表
- 1950年(昭和25年) 早稲田大学専門部工科卒業
能代工業高校教諭となる
- 1951年(昭和26年) 秋田工業高校教諭となる
ラグビー部の指導にあたる
(在籍時のラグビー部戦績)
全国高等学校大会 優勝 8回
準優勝 2回
国民体育大会 優勝 12回
秋田県ラグビー協会幹事長(理事長)
秋田県高体連ラグビー専門部委員長
- 1978年(昭和53年) 秋田県スポーツ功労賞受賞
- 1980年(昭和55年) ラグビー日本高校代表
ニュージーランド遠征副団長
- 1983年(昭和58年) 男鹿工業高校教頭となる
秋田県ラグビー協会副会長
- 1986年(昭和61年) 大曲工業高校校長となる
日本ラグビー協会評議員(3期)
- 1988年(昭和63年) 秋田工業高校校長となる
秋田県高体連評議員ラグビー部会長
秋田工業高校退職
- 1990年(平成2年) 秋田工業高校退職
- 1992年(平成4年) 秋田県教育功労賞受賞
- 1994年(平成6年) 著書「精魂尽くして颯爽たり」出版
- 1996年(平成8年) 秋田市文化賞受賞
- 2004年(平成16年) 瑞宝小綬章受章
- 2006年(平成18年) 10月26日 逝去(享年77歳)

「秋工のマーチング」

秋田工業高等学校吹奏楽部顧問
高橋 保子先生



昨年12月15日にさいたまスーパーアリーナで開催された「第35回マーチングバンド・パトントワリング全国大会」において、念願の金賞を受賞することができました。

出場に際し、これまでたくさんの皆様から物心両面にわたり、たくさんのご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、直接会場まで足を運んでくださり、熱心に応援いただきましたことに心から感謝いたします。

本校の全国大会出場は8年連続15回目の出場でしたが、今年度はこれまでの大会においてあと一步のところまで涙をのんできた金賞受賞への熱い思いを胸に、部員一丸となり練習に取り組んできました。

また、今年度は本校吹奏楽部に取りまして、不安な状況でのスタートを切ったことは間違いありません。なぜなら、本校吹奏楽部をここまで育て上げ全国大会で戦えるレベルまで引き上げご指導して来られました野上浩先生が人事異動で転勤されることになったからです。そして、教育課程の科目変更で芸術教科が美術から音楽になり、その関係で私が赴任することになりました。最初は戸惑いと不安ばかりが大きく全国大会出場校というプレッシャーに押しつぶされそうになりました。しかし、野上先生はじめ優秀なスタッフ陣、OBやOG、父母の会の強力なサポートを得ることができ徐々に活動を軌道に乗せることができました。そして、生徒が必ず全国大会に出場し、昨年果たせなかった金賞を獲得することを4月当初全員の目標として掲げ、努力してきた結果だと思えます。私にできることはわずかなことで、音楽的なことで少して

も向上させることができればと思ひ微力ですが力を注ぐことができました。

本校の実態から言うと、運動部からの転向者で楽器演奏に関しては全くの初心者がたくさんおり、演奏面の強化は必要不可欠です。また、今年度のメンバーは精神的に浮き沈みがありそれに左右されることが多く、テンションや本番までのモチベーションをいかに上げてそして持続させていくかということに気を配る必要があったことも事実です。

東北大会では、昨年に続き1位で抜けることができました。東北大会から全国大会までの期間では、さらにショーのグレードアップを図るためショーコーディネーター兼ドリル作成者であり指導者でもあるOBの伊藤利治氏のご尽力によりさらに練り上げて表現も詰めていくことができました。そして、全国大会本番では東北代表として胸を張って堂々と演奏演技し、何よりも一人一人がショーを楽しむことができた、そのことがよい結果に結びついたと思えます。マーチング初心者の私にとってはあまりにも大きな生徒たちからのプレゼントでした。本当にうれしかったです。

秋田県にとって高校の部では初めての金賞、そしてなんと東北支部にとっても初の金賞ということであらためてそのすごさを日を追うごとに実感しております。

これが終わりではなく、これからが本当の意味で私たち秋工マーチングバンドの力が問われることとなります。スタートラインに立った気持ちで、よい音楽づくりと部活運営ができるよう精進して参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



金賞 第35回 マーチングバンド・パトントワリング全国大会
東北代表・秋田県立秋田工業高等学校吹奏楽部 "Fearless Explorers"
指揮: 野上浩・高橋保子

7801

「秋田わか杉国体」応援ツアー



伊藤 昭 (昭和36年機械科卒)

久しぶりに降り立った秋田空港、我々を歓迎するかのような晴天だった。

第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」本大会の開会式が平成19年9月29日秋晴れの下、県立中央公園県営陸上競技場（秋田市雄和椿川）で行われ、県内19市町村の会場で37競技、11日間にわたる大会の幕を開けた。

我々は首都圏県人連合会の一員として東京秋工会から澤木会長はじめ9人が参加、在南米県人会も加わり総勢150人の応援団。マスコット「スギッチ」の刺しゅうが入った帽子と「がんばろう秋田」と書かれた緑色のそろいのはっぴを着て大声援を送りました。



天皇、皇后両陛下をお迎えして行われた開会式は、午後1時過ぎからの式典前演技で盛り上がった。

式典前演技は古代・近世・現代・未来の3部構成。1部「人間賛歌」では、県内の小中高校生やダンス団体のメンバーら約1100人が音楽に合わせ華麗なダンスやマスゲーム、和太鼓演奏、マーチングなど見ごたえのある演技が披露された。秋田の近世を表現した第2部「豊じょうの大地」では、黄金色の大きな布を60枚以上たなびかせて実り豊かな稲田を表現する中で、羽後町の情緒豊かな西馬音内盆踊りが披露され、秋田の魅力を存分にアピールした。フィナーレの前に、マーチング隊や桃色の着物姿の女性らがフィールド上で「2007」「AKITA」の人工文字を作ると、会場を埋めた約18000人の観客からは大きな拍手が鳴り響いた。

開会式には、約6800人の各都道府県選手団のほか、総勢24000人が参加。大曲花火の号砲とファンファーレを合図に47都道府県の選手団が北海道を先頭に北から順に入場した。

入場行進でしんがりを務めた秋田県選手団740人がスギッチの描かれた小旗を振りながら堂々と行進した。秋田県選手団（団長・蒔苗昭三郎県体協会会長）はラグビー成年の目黒健太選手（秋田市役所）が旗手で最後に入場。観客席からは大きな拍手がわき起こった。

大会会長の森喜朗・日本体育協会会長が今年発生した地震や秋田県を襲った先の豪雨による被災者に対しお見舞いの言葉を述べ「栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さん、日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮し悔いのない競技をしてほしい」とあいさつ。

渡海紀三朗文部科学大臣の挨拶、寺田典城知事、佐竹敬久市長の歓迎の言葉が続いた。

天皇陛下は「多くの県民に支えられて開催されるこの大会が選手、県民にとって心に残る実り多いものとなる事を願います」とお言葉を述べられた。

この後、県内9ヶ所で採火された炬火（きょか）が県内各地域の代表9人によってリレーされ会場内を周回、大館市出身ボストンマラソン優勝者山田敬蔵さんのトーチで一つになり最終走者2人になぎ炬火台に点火、46年振りに秋田に炬火がともされた。

2時間にわたる開会式はスポーツの祭典に相応しく華々しくも郷土色豊かに素晴らしいものでした。

開会式終了後の夜はイヤタカ会館にて、県の招待を受けて応援に駆けつけた我々首都圏在住の県出身者と在南米県人会ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの3カ国から来た38人全員と合流、総勢150人による懇親会が開催された。



翌30日は秋田橋台CCにて秋工同窓会本部と東京秋工会の合同懇親コンペが開催された。晴天に恵まれたものの東京勢全員は二日酔いのせいもありスコアは今一であったが思い出に残る楽しい二日間でした。

(以下は秋田魁ニュース抜粋)

最終日の9日は県内各地で5競技と閉会式が行われ、11日間にわたる熱戦の幕を閉じた。この日県勢はラグビー成年（秋工ふるさと選手多数参加）と柔道成年男子で優勝を飾り、有終の美を飾った。秋田市の県立中央公園県営陸上競技場で行われた閉会式では、男女総合成績1位に与えられる天皇杯と女子総合成績1位に与えられる皇后杯が大会史上初めて秋田県に授与され、国体旗が寺田典城知事から来年の開催地である大分県の広瀬勝貞知事に引き継がれた。

(同窓会本部より) 秋工関係者の成績

陸上	少年男子 A	5000m	伊藤正樹 (材料3)	11位
	少年男子共通	5000m競歩	長岩大樹 (土木3)	1位
水泳	少年女子 A	400m自由形	佐々木明音 (工化1)	予選敗退
体操	新体操団体少年男子	秋田県選抜 3位	小林龍一 (機械3) 小野寺浩司 (電気2)	
バドミントン	少年男子団体	甲谷 光 (機械3) 信太悠晟 (機械2) 工藤和貴 (土木3)		
山岳	少年男子縦走	石田健祐 (土木3) 進藤 将 (材料2)	2位	
空手道	少年女子個人相手	門間千紅 (建築2)	4位	
ラグビー	秋田県選抜	2位 (桐蔭主体の神奈川に敗れる)		
	伊東正樹 (土木3)	後藤 賢 (電気3)	黒川賢亮 (機械2)	
	佐藤亮太 (土木3)	松下竜也 (材料3)	鎌田祐大 (機械3)	
	松井大樹 (材料3)	近藤翔平 (材料3)	遠藤明史 (土木3)	
	FW中心に5、6名出場			

OBでは藤田慎吾が成年男子縦走秋田県チーム 2位
成年男子ラグビー 1位 (OBがかなりの人数出場)

全国高校駅伝の母校応援



小野 鐵雄 (昭和38年 土木科卒)

第58回 全国高等学校駅伝競走大会は平成19年12月23日(日)、京都市の西京極陸上競技場発着コースで行われた。

わが母校の陸上部は、10年連続出場学校表彰を受賞する栄誉を受け、昨年の8位入賞以上の成績を期待して、今回は秋田の代表的な郷土芸能である勇壮なナマハゲが同行した。東京秋工会三平俊悦会長はじめは8名の会員と名古屋、大阪支部同窓会および関西秋田県人会のメンバーがナマハゲと共に、伊藤昭応援団長(昭和35年度秋田工業高校応援団長)指揮のもと、盛大に母校の応援を行った。



第1区伊藤正樹(主将)は、第7位でたすきを渡し、2区高坂優輝、3区佐々木雅昭、4区掘正樹、5区須合拓也、6区石田健祐、7区草弾泰裕の7名が日頃の練習の成果を発揮し、2時間7分2秒で第1位の成績であった。昨年の2時間6分12秒より50秒遅かったが、母校の栄誉を懸けて良く健闘しました。

優勝は、仙台育英高校(宮城県)、準優勝は佐久長聖高校(長野県)でしたが、両校はトラック内で抜きつ抜かれつの激走で稀に見る好勝負で、2時間3分55秒



の同タイムでゴールした。競技場ははじめテレビ機軸で見ていた人々に感動を与える名場面でありました。

高校駅伝では、最長区間の1区に外国人留学生を起用できないとする規制を全国高等学校体育連盟の全国評議会で固め08年度から実施する提案を行った。しかし、日本陸上連盟の沢木啓祐専務理

事が「規制には誰もが納得できる説明が必要」と訴え、外国人留学生の規制については検討が続けられている。現在留学生の規制は、95年に定めた男女ともエントリーは2人、出場は1人までとなっている。

外国人留学生の受入高校が多くなるなかで、秋田工業高校と同様に10年連続出場の節目を迎えた豊川工業高校は、04年が2位、05年から2年連続で3位、今年は5位と安定した成績を残している。外国人留学生のいないチームでは、佐久長聖高校とともにトップの成績ということになる。

両校とも、高校駅伝を部活動としてとらえ、部員全員が同じ練習に取り組み、基本動作の反復により、正しい技術を体得すること。あいさつや掃除、体調を崩さないための手洗い、うがいなど、基本的な生活習慣を身に着けること。自分以外に頼るものがないレースという場面で、練習で培った力を出し切れるかどうか、それを左右するのが「自分のことは自分でする力を身につけているかどうかだと考え、指導している」と、豊川工業高校の渡辺正昭監督は述べている。

この両校の部活動の方針は、若者のみならず、我々シニアのリタイア組にも参考になる言葉だと思っている。

東京秋工会は、母校の部活動が、関東、関西で活躍する機会には、会員を募って応援に駆けつけ選手を激励したいと考えております。会員の皆様もぜひ参加してください。



総合建設業

MIMORI CONSTRUCTION CO., LTD.
株式会社三モリ建設
一級建築士事務所

代表取締役 三森慶幸 (昭40建築科卒)

本社：〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延833
TEL 044-888-8897 FAX 044-888-7238

秋工ラグビー部夏合宿応援



加賀谷 健治 (昭和36年電気科卒)

去る平成19年8月14日から15日にかけて、東京秋工会の有志が秋工ラグビー部が夏の合宿を行っている「菅平」を訪問し、練習試合の応援と、激励をした。

参加者は、鎌田満雄 (S28E)、伊藤芳男 (S34C)、宮川良一 (S34M)、杉山孝治 (S35A)、加賀谷健治 (S36E)、三平俊悦 (S39A)、佐々木進 (S40S) の7名。

「菅平」は、真夏でも最高気温が25℃程度の爽快な高原で、全国の少年、高校、大学および社会人のラグビーチームが夏の合宿を行い、練習試合を繰り広げるラグビーのメッカとなっている。

8月14日秋田工業高校ラグビー部は、日川高校 (山梨) と練習試合を行っていた。秋田工業メンバーの体格は日川高校より一回り小さく中学生と高校生の試合と間違える程の体



格差だった。

練習試合も一方的に攻められ、これでは全国出場すら危ういと同行した皆が感じた次第である。

秋田わかすぎ国体に出場する選手が先に帰ったため、残りの選手で練習試合を行っていたと、後で聞いたが、選手層の薄さが問題であり、有力な選手の増員努力が必要なることを痛感した。

試合後柴田久寛監督に、昨年の会報に掲載した「秋田工業高校ラグビー部創立80周年記念を祝い栄光の復活を考える」の原稿と、「秋田工業高校ラグビー部復活を考えるその後」と「志賀英一氏の古希を迎えての記事で、早稲田大学ラグビー部が13年ぶりに大学選手権を奪回するまでの事例」を掲載した、今年の「会報KANASA VOL.15」を各10部提出し、同窓生の「秋工ラグビー栄光の復活」の思いを伝えた。



省エネ・省力・安心・安全 制御システム
コンサル・開発・販売



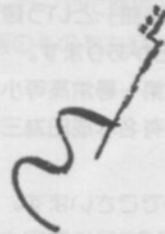
環境システム開発株式会社

代表取締役 加賀谷 健治 (昭和36年 電気科卒)

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧3-14-17-3
TEL/FAX: 042-372-1781 携帯電話: 090-1604-3899
E-mail: k-kagaya@nifty.com

GUITARIST

ギタリスト



いわみ やひろ し
岩見谷 洋志

(昭和41年電気科卒)

クラシックギター演奏・教授

〒211-0025 川崎市中原区木月4-18-19
TEL&FAX 044(433)2931
http://ww1.newweb.ne.jp/wb/iwamiya/

DIME 株式会社 タイム

建設業登録 東京都知事 許可 (般-1) 第121344号
建設コンサルタント登録 (地質部門) 建18第8590号

代表取締役 広野 進

取締役 鎌田 国雄 (昭37 土木科卒)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-2-12 ニュータロービル2F
TEL 03-5275-7756 FAX 03-3512-3202
ホームページ: http://www.di-me.co.jp

実践経験豊富な人材と
培われた技術で
21世紀に貢献する

株式会社 アドテクノ

〒300-0063 茨城県水戸市五軒町1丁目5番48号

取締役 佐々木 武 (昭29MB)

TEL. 029-233-3380 FAX. 029-221-7789



連載エッセイ

東京秋工会顧問

笹渕 茂 (昭和21年冶金科卒)
戸田市在住

◆ たまげた出会い

古里の別家で結婚式があった。式場でのあいさつを本家からやってくれとあって、新幹線の往復切符を送ってよこした。場所は秋田キャッスルホテルとのこと。

十日前には、同じこの場所で、我が母校秋田県立秋田工業高等学校創立百周年記念懇親会が執り行われたところである。

式は夕方からだから秋田行きの新幹線「こまち」に乗れば、その日の結婚式には間に合うという。

言われたとおり、当日の大宮駅から新幹線「こまち」に乗車した。わたしの予約席の向かいには、東京から乗ったのだろう、一人の若者がすでに座っていた。

聞くと、千葉のとある大学の学生であることがわかった。これから古里に帰るところだという。

古里はどこかと重ねて聞くと、秋田の森吉町と答えてくれた。それを聞いてわたしはたまげてしまった。

森吉町には、成田為三の「浜辺の歌音楽館」がある。今日の結婚式には、その「浜辺の歌音楽館」に関係する話をする事になっていたのだ。

新郎の名前はU君、新婦はKさん。

U君、Kさんご結婚おめでとうございます。北秋田郡に森吉町という町があります。その町に「浜辺の歌音楽館」という建物がございます。数年前にそのやかたを訪ねたことがあります。

わたしが小学生のころ歌った校歌は「船川第一尋常高等小学校校歌」でした。「浜辺の歌」を作った、かの有名な成田為三作曲のものだということはあとで知りました。

「秋田県民歌」も成田為三作曲によるものでございます。後年になってこの「秋田県民歌」は昭和5年10月30日に制定されていることがわかりました。

ついでながら、現在の船一小の校歌は、戦後に作られたものでございます。

さて、専門的な話は省きますが、「秋田県民歌」と「旧船一小校歌」とに非常に似通ったところが何か所かあります。そこでわかってきたのは、この二つの歌は同時代に作られたのではないか、ということでした。

そのころ、「旧校歌」のほうの制定日はまだわかっていませんでした。それを突き止めるために、先ほど申した「浜辺の歌音楽館」を訪ねたのでございます。

そこへゆけば「旧校歌」の制定日が、わかるだろうと思ったからでございます。

館内の奥から年配の人が出てきました。来館の趣旨を告げると、そのかたはそそくさと、また奥の部屋へ行って、やがて「旧船一

小校歌」の楽譜を持ってきてくれました。そしてそばにあったアップライトピアノの前に座るなり、「旧船一小」の校歌を演奏したのでした。それはそれはすばらしい演奏でした。わたしはその場であっけにとられました。この年配の方がピアノを弾いたので。しかも堂々と。

わたしは改めてお聞きしました。

「先生は、秋田師範学校あたりでピアノを学ばれたのでしょうか」とすると先生はこともなげにおっしゃいました。

「いや、わたしは東京芸大の音楽科を出まして、やがてここに勤めている次第です」

先生は、ここ「浜辺の歌音楽館」の館長さんでした。

人様を風ぼうや外観で判断したわたしを、愚かに思えたことでした。

こういう愚かなことは、二度としまいと心に決めるのですが、なかなか直りません。こういうことは、若いうちにこそ直せるのではないかと思います。

U君、Kさんのお二方がそうだとお申しませんが、なにかの参考にしていただければと話してみました。

お二方、どうぞ仲良くお暮らしになってください。そしてここまでお育てになったご両親に対していっそうの親孝行をなさってください。

今日はほんとうにおめでとうございます。

<注記>

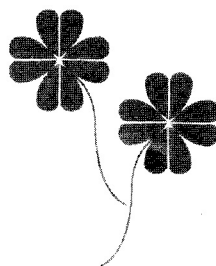
結婚式後、「男鹿行き」の貸し切りバスに乗った。

「笹渕さん、船川第一尋常高等小学校校歌の制定日はどうなったのですか」。

それにしても、わたしの話を皆さん、よく聴いていらっしゃる。うれしくなった。

車内には元、船一小に勤務なさった方が何人かいた。

「船川第一尋常高等小学校」の校歌制定日は「秋田県民歌」の制定日と同じ、昭和5年10月30日。



◆ 俳句でのかなづかい

— その要領と「送り」について —

最近、若い人にも俳句人口が増えつつあると聞く。

俳句表記のさい、そのかなづかいをどのようにしたらよいか、若者に限らず年配者でも迷うことがある。

また、俳句を旧かなづかい（歴史的仮名遣い）で表現するか、新かなづかい（現代かなづかい）にするかは、意見の分かれるところである。

それを、現在の俳句界での傾向について調べてみると、旧かなづかいによるもののほうがその大半を占めているように見受けられる。

しかしながら、現代かなづかい、新送りがなに慣れた現今の人にとって、この使い分けがなかなか難しい。

そこで、新かなづかいを旧かなづかいにするさいの“手懸かり”をまとめてみた。

その要領は、大別して八項目に集約できそうだ。

◇ ◇

次の発音が出てきたら注意しよう。それらのほとんどは（ ）内のかなづかいのどれかになる。

〔文言が多岐にわたるので、二例を挙げ、他は省略した〕

[1]「ワ行」のとき。

わ(わ、は)【例】回(まはる)

え(え、へ、ゑ)【例】声(こゑ)

[2]「カ、ガ、ジ、ズ」のとき。

か(か、くわ)【例】缶詰(くわんづめ)

じ(じ、ぢ)【例】味(あぢ)

[3]「ジョ」のとき。

じょ(じょ、ぢょ)【例】女性(ぢょせい)

[4]「促音」のとき。「っ」が(き、く)になるものがある。

【例】郭公(くわくこう)

[5]「ユの長音」のとき。

ゆう(ゆう、いう、いふ、ゆふ)【例】夕焼(ゆふやけ)

[6]「オ列長音」のとき。

こう(こう、かう、かふ、くわう、こふ、こほ)【例】黄葉(くわうえふ)

よう(よう、えう、えふ、やう)【例】紅葉(こうえう)

[7]「イ列に、よう音『ゆ』の長音」が付いたとき。

じゅう(じゅう、じう、じふ、ぢゅう)【例】柔軟(じうなん)

ひゅう(ひゅう、ひう)【例】日向(ひうが)

[8]「イ列に、よう音『よ』の長音」が付いたとき。

きょう(きょう、きやう、けう、けふ)【例】今日(けふ)

じょう(じょう、じやう、ぜう、ぢやう、でう、でふ)【例】上手(じやうず)

りょう(りょう、りやう、れう、れふ)【例】料理(れうり)

〔具体例などを省いたことで、わかりにくい内容になってしまった。ご勘弁願いたい〕

◇ ◇

次に、送りがなの「送り」について触れておく。

これにも現在、二つの見解がある。その一つは、送りをなるべく多く送る方法。今ひとつはその逆で、比較的少なく送る考え方である。それぞれに長所、短所があり、どちらにするかは難しい。

多く送ったらわかりやすいし、送らないと読みにくいと一概にいえない。

たとえば「黒光」とすれば“こっこう”と読み取れそうだし、「黒光り」は“くろびかり”と読めそうである。が、人によっては、黒光(くろびかり)・黒光り(くろ、ひかり)と取るかもしれない。また、それに係る前後のことばにより感じ方、読み取り方も違ってこよう。

ことの「よしあし」は、別の機会にゆずるとして、次のような短詩独特の多送り用例もある。

一日(ひとひ)→一ト日、一と日。二七日(ふたなぬか)→二た七日。短夜(みじかよ)→短か夜。夜(よる)→夜る。早(はや)→早や。これらに共通している点は、そのほとんどが名詞であること、語幹の一部が漢字からはみ出して「かな」になっていることであろうか。

送りがなの歴史をさかのぼれば、漢字の訓読みを容易にするための手段として、そのかたわらに適宜小書きしたのが始まりであった。したがって送りに、一貫した法則は、もともと存在しないのだ。

こうしてみると、送りは各人の感覚に頼るしかないような気がしないでもない。俳句における実作例を見ても、送りについては、かなりばらばらであり個性的である。

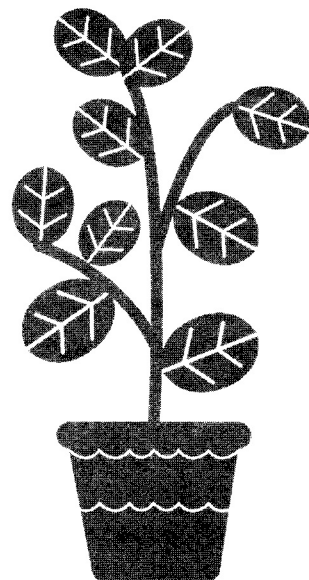
もっとも、独り決めした「送り」の省略は考えものだ。

“こまか”い、“こまか”し、“こまか”ければ、の連想から「こまか」までを動かないものと早合点して“細い”とすればどうなるか。

「君は神経が細い」と書いたら、相手はきっと憤慨するに違いない。「細」には“ほそ”い、“ほそ”し、“こま”い、“こま”でま、などの使い方もある。この場合は「君は神経が細かい」とする。これに似た送りの俳句が、ときおり目につくのである。

◇ ◇

表示したような発音、ことばが出てきたら、まず辞典に当たってみることだ。これから辞典を買い求めるのであれば、見出し語の一つ一つに歴史的かなづかいが付記されている、できるだけ最新版のものをお勧めする。



「M36ミニ同級会」

齋藤 隆 (昭和36年機械科卒)



*はじめに

昨年の11月17日開催された東京秋工会総会にM36卒の仲間12人が中央のテーブルを囲んだ時、何故か我々だけが会場の中で結構際立っていたように思えた。

これもその年の4月21日に川崎で行ったM36卒同級会で盛大かつ有意義な成果を得た流れがそのまま東京秋工会への新規入会へつながり、それまでの働きかけと努力が功を奏し、その結果今回の総会を利用したいいわゆる「M36卒ミニ同級会」に12人も多くの仲間が集まったのだと認識し、誇らしい気分になった。

他の年代の多くの同窓生が思っている事だと思うが、東京秋工会の機関誌「金砂」を毎年のごとく受取り、講読するたびにその内に入会しようと考えめぐんでいながらずるずると時がたった人が多いのではと言うのが実態かと考えられます。小生もその内の一人で卒業して46年目にしての入会になりました。

今回初めて総会に参加して当初は独特の雰囲気戸惑いながらも諸先輩、関係者の並々ならぬ長年の努力、そして秋田工業高校への深い思い入れが感じられ、伝統の強さ、歴史の重みに改めて感動を覚えた次第でした。そして我々卒業生もこのような多くの諸先輩に支えられているのだと実感し、再認識もしました。

*東京秋工会総会出席までの道のり

M36卒の同級生は92人おり、地元企業に就職する者、県外に赴く者、更に進学を目指す者、それぞれの夢を胸に描いて第二の人生に旅立って行った。

我々の同級会としては今まで恩師を招いたりしながら、地元秋田や京浜地区で過去何度か開催してきたが、平成11年に東京の品川で行って以来滞っていた。個々に年賀状のやり取りや、集まりの中で、いつかは同級会を実施したいと言いながらも中々具体的に行動が伴わず実現できずにいた。

その内に多くの仲間が定年を迎えたり、年金生活に入るなどで現役を去り、交流の機会が少なくなったりで周りを取り巻く環境が変わりつつあった。

話は5年ほど前にさかのぼり、久しぶりに京浜地区の東芝関係の仲間だけでも集まってみたいものだ、と何度か話題には上がり、上がっては消えかかろうになっていたが、ある日、この際もっと範囲を広げて関東地区にも声を掛けよう！、からさらにどうせならいっそのこと全国の同級生にもと結論付けたのが昨年の1月でした。昨今のIT時代もあり、幸いにもパソコン知識技術に精通した伊藤昭氏、更に東京秋工会のパソコン同好会で活躍している工藤良氏の働きで一気に4月21日(土)開催に向けて精力的に名簿の拡充、資料作成そして案内状送付に漕ぎ付けた。(本件に関しては、東京秋工会の事務局の方に世話になりました)

当日は関東全域、故郷秋田、さらに愛知県からと総勢28人の出

席を得て有意義にかつ充実した日を過ごし、次回の再会を期待して散会した。この集まりを利用して幹事より東京秋工会のPRと共に総会への出席を熱心に働きかけた。その後この2人が中心となって本部事務局関係者と連絡を取り合いながら11月17日の「M36卒ミニ同級会」への道筋と相成った次第である。今回の同級会の盛り上がり東京秋工会への道筋となった事は言うまでもない。

*さらに会員を増やすために東京秋工会を利用しよう

今回の総会への出席は単に一部の者の働きだけでまとまったわけではなく、やはり以前からそれこそ高校在学中からの堅いきずながあったように思えてならない。誰かが行動を起こし、仲間がその意気を感じて協力を惜しまないのだろうと思われる。我々M36卒同級会はもとより関東近辺には秋田工業卒業生はかなりの人数が居るはずである。現住所、連絡先等の不明、あるいは当初から入会の意志の無い者が居る事は否めないが、意外と多いのが小生のように入会しようと言う気が有りながらおっくうになっているのも事実であると考えられる。

東京秋工会の中でM36卒同級生の会員は現在「ゴルフ同好会」「釣り同好会」等諸々の趣味を生かし、交流の輪を拡げつつあり、さらに勧誘を薦め、より以上の会員仲間を増やして東京秋工会に協力したいと考えている。会員になった結果、その中の諸々のHPを開いてみて故郷秋田の状況、情報を探索する事が出来、その奥域の広さ、深さを再認識すると共に更に色々な分野で活躍している同輩を知るに当たり、気が引き締まる思いもします。M36卒同級会は工藤良氏の努力と熱意により、「掲示板」が開設されており、同期の仲間が諸々なる情報、見識等を提供してくれてお互い興味深く閲覧して教養を高めている。

*おわりに

東京秋工会の総会に出席して、あの雰囲気から感じ取ったもののひとつに、やはり昨今のラグビー部の成績が芳しく無い事であった。かつては優勝候補に必ず名を連ねていたのが、今や全国大会にすら出られずでは、総会も今ひとつ盛り上がり欠け、ラグビーの応援歌もむなしく聞こえるばかりであった。関係者も色々と策を練っているようではあるが、以前のような体勢に盛り上げるには並大抵ではないと思われる、少なくともラグビーの名門校出身ですと周りから言われて来た伝統と誇り高さは、東京秋工会にとっても極めて重要な十字架に違いない。最近はどうも「駅伝」部の活躍で何とか名を成しているようだが、スポーツに限らず、いろんな分野での活躍で新聞を賑わしてもらいたいものだ。

また母校秋田工業高校のみならず、故郷秋田県人の諸氏の活躍は県外に住んでいてもうれしいものであり、いつかの新聞に載った「秋田の沈滞、県民性のせい」が話題にならないようがんばってもらいたいと祈るばかりである。

The technical group which wrestles with the reproduction of natural environments
 Limited Liability Partnership Land Owner Office
 project management group office
 2-23-8 Tsurumaki, Tama-City Tokyo 206-0034, Japan
 japan TEL:+8142-371-3630



自然環境再生にとりくむ技術集団（プロジェクト マネジメント グループ）
 有限責任事業組合 ランドオーナーオフィス
 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧2-23-8
 TEL 042-371-3630
 理事長 地主 勝巳
 （昭和37年 土木科卒）



● 語学留学 企画・手配

- ニュージーランド ● オーストラリア
- カナダ ● ハワイ
- アメリカ本土 ● イギリス

※ホームステイ、学校手続、航空券、等

● 海外施設研修旅行

※上記 + 東南アジア
 各種博覧会等企画・手配

株式会社 KM ツーリスト TEL 042-522-0301

代表取締役 伊藤 幹夫 (昭46A卒)

〒190-0012 東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル3F (JR立川駅前)

地盤調査・土質試験・土地家屋調査
 土木設計・一般測量・さく井工事



株式会社 ジョー
 Geo Co, Ltd

代表取締役 佐々木 進 (昭40 採鉱科卒)

本社 東京都調布市東つつじヶ丘3-41-31
 〒182-0005
 TEL 03(3308)7591
 FAX 03(3308)7597
 E-mail : geo@msj.biglobe.ne.jp

宝石・貴金属 専門店



伊藤貴金属 大町本店

秋田市大町1-2-47
 TEL 018-836-2761

秋田駅前店
 3550-11 ダイヤモンド

秋田市中通2-4-15 朝日生命ビル1F
 TEL 018-836-5533

代表取締役 赤塚 京二 (昭40 土木科卒)

● 母校たより

秋田工業高校 平成19年度の主な出来事

東京秋工会副会長／会報KANASA編集長
加賀谷 健治(昭和36年電気科卒)



学校の出来事

秋工定時制 歴史に幕

秋工定時制課程は、平成20年3月2日の卒業式で機械科4名、電気科7名、合計11名の最後の卒業生を送り出し、1951年(昭和26年)6月11日に開学以来56年間の歴史に幕を下ろした。少子化の流れの中で伝統の一つが消えた。なお、定時制課程の延べ卒業生数は、機械科1,048名、電気科1,000名、建設科(1987年廃止)429名の合計2,477名に上る。

同日行われた、全日制課程の卒業式の卒業生数は、7クラス266名(内女子25名)だった。



最後の卒業式に臨む定時制課程の生徒(手前1、2列目)
【記事・写真:秋田魁新報社提供】

秋田工業高校 卒業生数の変遷

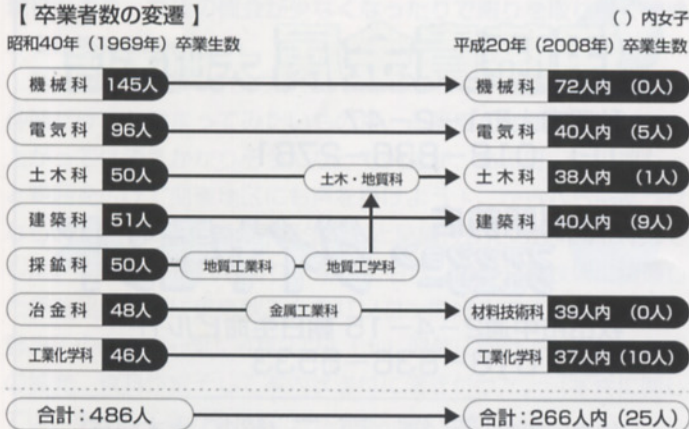
母校秋田工業高校の生徒数が最近減少している。全日制課程の卒業生数のピークは、昭和40年(1969年)の486名だったが、今年の卒業生数は、ピーク時比54.7%とほぼ半減している、各科毎の卒業生数の変遷を下図【卒業生数の変遷】に示す。

学生の理数科離れ、少子化などが影響していると思うが、工業高校生減少の原因を日本経済の側面から探ってみた。

日本経済は1992年のバブル崩壊以降、経済のグローバル化の進展の中で企業は生き残りをかけて活路を海外に求めた。特に製造業はコストの削減を目指して、人件費が格段に安価なアジア・中国に工場を移転した。

その結果、自動車・電機産業が牽引力になり日本経済が復調した。しかし、同時に国内製造業の空洞化をもたらし、国内雇用の減少、賃金低下などの問題を生み出した。

【卒業生数の変遷】



自動車メーカーの場合、1990年の国内生産ピーク時から40万人前後の雇用減になったと推測される。また、電機メーカーの場合、テレビ、VTR、ステレオのほぼ全量が、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の過半数が海外生産になった。

一方、日本企業の海外での雇用者数が増大し2004年には406万人までに達した。このように、日本経済の発展が国内雇用の増大にならず、製造業の新人供給元の工業高校の生徒減少の原因となっている。

日本が真の工業立国として継続して発展するためには、海外生産の安価な製品に対抗できる「高機能・高品質」な革新的な製品を「国内で開発し製造」する事が必要である。このためにも、工学系の人材育成が重要であり、母校「秋田工業高校」のさらなる充実と発展を期待したい。

秋田工3年村田君機械加工2級に合格

秋田工高3年村田俊君が厚生労働省が実施した「機械加工(普通旋盤作業)技能検定2級」に合格した。県内の現役高校生が2級に合格したのは初めてのこと。将来「技能オリンピック」に出場する事を目標にしている。



【記事・写真:秋田魁新報社提供】

運動部の活躍

秋田わか杉国体

写真:開会式で秋田県の入場行進



5000メートル競歩長岩高記録でV

陸上競技少年男子共通5000メートル競歩で長岩大樹(秋田工高3年)が頂点に立った。この成果が、会期を2日残して天皇賞(男女総合優勝)受賞に貢献した。

長岩は、インターハイ2位の雪辱を期してフォーム改善に取り組み、腕の振りを大きくする事により足が出やすくし、地元国体で念願の頂点に立った。タイムはこれまでの県記録を更新する20分42秒45の新記録。いつかは五輪で戦いたいと誓っている。



先頭の鈴木(愛知)をとらえる長岩
【記事・写真:秋田魁新報社提供】

秋田わか杉国体

秋田工高関係者の入賞戦績

- 陸上少年男子共通5000m競歩：1位
長岩正樹（材料3）
- 新体操団体少年男子秋田県選抜：3位
小林龍一（機械3）、小野寺浩司（電気2）
- 山岳少年男子縦走秋田県選抜：2位
石田健祐（土木3） 進藤将（材料2）
- 山岳少年男子縦走秋田県個人：3位
進藤将（材料2）
- 山岳成年男子縦走秋田県選抜：2位
藤田慎吾（秋工OB）
- 空手道少年女子個人組手：4位
門間千紘（建築2）
- ラグビー少年の部秋田県選抜：2位（神奈川26-10）
メンバーに秋工在校生9人
- ラグビー成年の部秋田県選抜：1位（26-13福岡）
メンバーに秋工OB13人

森元首相 秋田工高を激励に訪問

国体期間中の10月5日、日本ラグビー協会の森喜朗会長（元首相）が母校を訪問し約1時間半滞在した。

ラグビー部員に激励の言葉を頂き、部員からはキャプテンの挨拶、部歌斉唱をした。写真撮影、同窓会館での懇談、部員のお母さん方には1人1人と握手記念撮影。

総理大臣経験者が秋田工業を訪問するのが初めての事。同窓会館での懇談会には、秋田県教育課長、校長、PTA会長、ラグビー父兄会長、同窓会長・同役員、ラグビー後援会長、OB会長などが出席した。

国体準優勝とあわせて秋田工業ラグビー部復活の切っ掛けとなる事を祈っております。

「本記事は、関東ラグビー協会長志賀英一氏（S31K卒）の報告」

全国高校駅伝

秋工無念11位 連続入賞逃がす

男子第58回、女子19回全国高校駅伝は12月23日京都市の西京極陸上競技場発着コースで男女各47校が参加して行われた。

秋田工高は3区まで4位グループにつけたが、後半失速。昨年打ち立てた県勢最高記録（2時間6分12秒）から50秒遅れて2時間7分2秒で終わり、2年連続入賞はならなかった。

男子優勝は、仙台育英（宮城）2時間3分55秒の成績。女子は立命館宇治（京都）1時間7分6秒で優勝。秋田大曲は、1時間12分15秒で35位、昨年の最下位汚名を返上した。



秋田工高の1区・伊藤（奥）が7位で2区・高坂にたすきをつなぐ。「写真・記事：秋田魁新報社提供」

関連記事P10「全国高校駅伝を応援して」

秋田工高が連続10回出場で表彰



12月22日京都市の西京極体育館で開催された男子第58回女子19回「全国高校駅伝開会式」において秋田工高が連続10回出場の功績で表彰された。

受賞する熊谷隆益校長
「写真：秋田工高陸上競技部HPから借用」

文化部の活躍

マーチング全国大会 秋田工高が金賞受賞

第35回マーチングバンド・パトントワリング全国大会のマーチングバンド部門が12月15日、16日の両日、埼玉県のさいたまスーパーアリーナで開かれた。秋田県からは5団体が出場し、秋田工高吹奏学部と大曲中吹奏学部がそろって初の金賞を受賞した。

秋田工高は8大会連続15回目の全国大会出場で初の金賞。高校の部で東北代表が金賞を獲得したの初めて。大曲中は4大会連続8回目の全国大会出場で金賞を初受賞。中学生の部で秋田県勢が金賞を獲得したのは第32回（平成16年）の六郷中以来3度目。

関連記事P8「全国マーチングバンド金賞受賞して」



秋田県情報

全国学力テスト秋田県がトップの好成績

全国の小6と中3を対象に、平成19年4月、43年ぶりに実施した「全国学力・学習状況調査」（全国学力テスト）で、秋田県がトップの好成績を収めた。

秋田県は小学6年の国語と算数で、基礎知識を問うA問題と応用力を問うB問題とも全4種類で全国1位。中学3年も、国語Bが1位、国語Aと数学Aが2位、数学Bが3位だった。

好成績の要因は、平成13年度から全国に先駆けて実施した1学級30人規模の少人数学習と、翌年度から毎年行っている学習状況調査（少人数教育の成果や課題をとらえ、児童生徒の学力向上施策の推進に資するためのペーパーテスト調査）が功を奏したと、言われている。

秋田県出身者にとって、地域経済の停滞、子殺、比内鳥偽装など暗い話が続いた後の、将来に希望が持てる明るい話題なので、母校たよりでないが、あえて紹介した。

「母校たより」は、同窓会幹事長原田誠先生、同窓会会報編集長志賀新一氏、秋田魁新報社のご協力で作成しました。

給排水.衛生.空調.設備 設計.施工.保守

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健 二人で咲かず同期桜

代表取締役会長 太田 光重 (昭31 機械科卒)
 監査役 仙北谷 孝治 (昭31 機械科卒)
 代表取締役社長 太田 博之 (昭56 工業化学科卒)

秋田市仁井田本町 5-1-62
 TEL : 018 (839) 6516
 FAX : 018 (839) 6513
<http://www.hokusei-kogyo.com>

株式会社 汎建築設計事務所

代表取締役 鈴木 誠一 (昭38A卒)
 一級建築士
 積算資格者

秋田市保戸野すわ町14-23
 TEL 018-862-3449
 FAX 018-862-3289
 E-mail : han_0416@cna.ne.jp

ISO 9000 BCI-QS-0593 JAB QS Management R019

SUNR 株式会社 三栄機械

鋼構造物、各種専用機から航空機関連設備の設計・製作まで
 お客様の幅広いニーズへ対応いたします。

代表取締役 細矢 育夫 (M31 卒)

〒015-0051 由利本荘市川口字家妻146番地の3
 TEL.0184-23-1094(代) FAX.0184-23-1538
 ISO9001認証 <http://www.sanei-kikai.com>

労働安全コンサルタント
 登録No : 土 第1213号

小野 鐵雄
 昭和38年 土木科卒

〒279-0011 千葉県浦安市美浜5-6-1003
 TEL&FAX. 047-352-8925
 携帯. 090-6566-7936
 E-mail : safety-con_tetsuo_o@pa2.so-net.ne.jp

三浦 謹之助 税理士事務所

税理士 三浦 謹之助 (昭21 建築科卒)
 税理士 三浦 宏晶
 税理士 三浦 潔彦

〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1丁目2-30
☎ 0463-93-3388 (FAX) 0463-93-3377

伊勢原駅 南口 徒歩1分

ALPS LAND PROPERTIES CO.,LTD
アルプスランドプロパティーズ 株式会社

一級建築士事務所
 東京都知事(2)第77726号
 全日本不動産協会会員
 東京商工会議所会員

不動産関連事業を核に、
 お客様が求めるビジネス&ライフを
 徹底サポートします。

会 長 三平 俊悦 (39A)
 代表取締役 小林 茂
 監査役 船木 一美 (48M)

- 資産最適化コンサルタント
- 情報収集、斡旋、企画、加工、提案
- 権利調整
- 建築諸問題解決
- デュレリジェンス、マーケティング
- リーシング、プロパティーマネジメント
- アセットマネジメント
- 設計、施工、販売コーディネイト
- リフォームコーディネイト

〒108-0073 東京都港区三田3-2-3万代三田ビル601
 TEL 03-5730-1471 FAX 03-5730-1475 E-mail : alps@mte.biglobe.ne.jp

異郷で暮らす (連載 その1 運転免許証)



大沢 由雄 (昭和31年機械科卒)

1: 運転免許証

これは日本でのなしである。

先日、孫の顔写真付きの「子供免許証」なるものを見た。サイズ、様式は大人用の「運転免許証」とほぼ同じである。異なるところは免許の種類が、乳母車、肩車、竹馬、一輪車、三輪車……となっていた。一歳児の年齢制限からか、乳母車と肩車だけが対象車種になっていた。更に、これには「免許の条件など交通規則を守ります」との制約条文まで記載されていた。又、発行が「XX損保冗談考案委員会」となっており、当然「00県公安委員会」ではない。

外国に赴任し、住むところを決め住所が定まると、次は外人登録、そして運転免許証の取得となる。国によっては「国際免許証」で事足りるが、全ての国ではそうとは限らない。

UAE (The United Arab Emirates: アラブ首長国連邦) は7つの首長国で構成されている。その中の1つラスアルカイマーでは地元で取得しなければならない。取得するには警察署に出向いて申請し、受験して、それに合格すれば取得となる。

警察署を訪れ手続きを尋ねると、係員は申請を受理し、その場で道路標識を渡し、次に出頭すべき日時を命令するだけである。試験用の車、試験場、取得費用……等々尋ねたいが、一方的に「決められた日時に、自分の車で来い」だけである。「無免許で自分の車で来てもよい」と受け取れる答えである。言葉が通じない悲しさである。

考えて見るとパリや東京の警察署でさえ、英語の通ずる人は少ない。いや、むしろいない筈である。邪険で無愛想な態度は言葉が通じないためであろう。又、どうも既に運転経験者である、との思いがあるのかも知れない。それとも細かいことをアラビア語で話しても、分かる筈がないとの思いもあるからであろうか。

試験日前までは渡された道路標識を、英語の出来る人に訪ねて勉強だけはした。この表の中には駱駝に注意の警戒標識もある。これは黄色と黒色の組み合わせ、四角い形まで日本で見慣れたものである。これを見て、ふと考えたことは時速100Kmの車が重さ1トン近い駱駝をはねた時の状況である。駱駝は恐らくゴロンゴロンと車のボンネット、屋根を転がるであろう。その時、ボンネットは前後とも、屋根もつぶれることは確実である。当然、窓のガラスも全て破損することも容易に想像はできる。静荷重、動荷重もとの屋根を支えるフレームの強度計算等々の技術的検討は、まったく不要であるとの結論に達した。

指定された試験日に言われた通り、無免許で自分が使う車を運転して警察署に出頭する。勿論、無免許で出頭したことは公認でありおとがめはない。試験は極めて簡単である。引き潮で硬くなった砂浜で、一直線上に等間隔に置かれたドラム缶の間をS字バックで

通過するのである。次はすぐに路上運転となり、幹線道路は避け、土塀に囲まれた民家の間の生活道路を走るのである。試験中は常時試験官が助手席に同乗するが二人は無言である。両者は互いに相手の言葉が分からないのである。

ここで、はじめて気が付いた。車持参は車の損傷を考慮して、幹線道路に出ないのは試験官自らの安全確保を考慮してのためであることに。

試験の可否の発表はなく、「この免許証は本首長国だけ有効で、隣の首長国では無効である。全UAEをカバーする免許証はアブダビで受験して取得せよ」との助言をさすかった。ラスアルカイマーとドバイの間200Kmには、他に三つの首長国が存在し、全部で五つの首長国がある。無料で、簡単に手に入れた免許証は限定されたものであった。

最後には「貴方に神のご加護がありますように」とのお言葉を頂戴し警察署を後にした。

カリフォルニアはハイウェイが完備しており、その沿線には新興住宅が山裾に広がっている。商業施設を中心に真新しい住宅が、広々とした敷地内に建っている。どこも同じような風景である。

ハイウェイを離れ、この新興住宅地に入るのには実に簡単であるが、戻る時は入って来た道を探し出せない。入る時は戻る時に備えて、通った道を一生懸命に記憶に留めるが、戻る時は当然ながら、その風景は後ろに広がっているのである。

ある交差点で車を止め、右、左と身を乗り出してあたりを見回すが、ハイウェイへの道を探し出せない。道に迷ったら原点に戻れ、との教えに従い、二度、三度と同じ交差点に戻ることになった。突然、子連れ父親から「貴方は停止線を越えて停車している。しかも、これで三度目だ」きついお叱りである。「実は私はこういう者だ」と身分証明書を見せられた。見ると警察署の委託を受けた町の交通監視員であった。「私の権限は摘発までであり、署に連絡し、来た警察官が貴方への罪を通告する。それまでは、ここで待て」との命令口調になった。

やがて、警察官がパトカーで来て、パスポートを見て、VISAはL-1 (現地法人社員) で残りは4年もある。セキュリティカード (住民登録済証) もあり、国際免許証もあり、全て万全である。とのお達しだけで罪のおとがめなしである。停止線オーバーの訳を知り、「俺に付いて来い」と命令され、それに従いパトカーに先導されてハイウェイの入口に到着したのである。別れにはクラクションを鳴らして感謝の意をあらわした。法治国家アメリカでの話である。(次号に続く)

私の東京秋工会ライフ

地主 勝己 (昭和37年土木科卒)



私は東京秋工会に年会費を納めてはいたのですが存在を認識したのは、平成12年11月18日、会社の営業ゴルフで新千葉CCのプレーが終わりレストランに入った時でした。左の方で大きな声でしかも聞き覚えのある訛りで「おめだばほんどダジャグケシだな」、「んだんだほんどダジャグケシのホジナシだ」と聞こえました。私は自然にそちらの方に足が向きました。テーブル席の前に「東京秋工会様」と有りました。私はお客様の事も忘れて「どうもどうもワダシも秋田工業出身です!」と席の中へ呼ばれもしないのに入っていききました。「んだすか、それはどうも、まずそごさネマテ1杯やてけれ」酔いが回って上機嫌の澤木会長の声でした。「どうも、お客さんと一緒だもだから次から仲間に入れでけれ」と私、「へば、あんだの名前ど卒業年次ど何科だか教えてでけれ」とこれは三平幹事長、割り箸の袋に書きとめました。「皆さんお邪魔しました。宜しくお願ひします!」と私。続いて全員の拍手と「待ってるぞ」の声。私はこの暖かさで卒業以来忘れていた母校意識に目覚めここから東京秋工会ライフが始まったのです。

最初にゴルフ同好会に入りました。会ではS27年土木科卒の鎌田工業株式会社 社長の鎌田満雄大先輩との出会いが有りました。何回か同じ組でプレーさせていただきましたが何時も足を引っ張るばかりの私に「地主! なんとなへばそんなに数叩げるもだが教えてでけれ」と褒められ!、個人的には仕事の相談やその後の「ちよっとやるか?」を楽しみに会社にお邪魔させていただきました。またある日「ちよっと」でなく「しこたま」飲んだあと鎌田社長の成城のご自宅にお邪魔したときのことです。あまりに広大なお屋敷を料亭と勘違いし、奥様を女将と間違えて大汗をかけたことも有りました。

株式会社KMツurisト社長の伊藤幹夫さんの企画による台湾や韓国でのゴルフ旅行では、お土産売りの売り子さんに「ジェンコねジェンコねから買えね、あまり使えばパパにゴシャガエルがらだめだ!」売り子の日本人ではないのかも?の表情に大笑いしました。年2回のコンペの他、同好会有志の不定期コンペも表彰式の後の懇親会が本当に楽しく思ひ出話に花が咲き、杯が過ぎてお店のお酒が無くなることも度々でした。この雰囲気は私にとって先輩後輩や損得に関係無く素の自分になって楽しめる心のオアシスです。

詩吟同好会にはゴルフ同好会のメンバーも多く、誘われて入会しました。相馬洋悦師範の指導の下、月1回の練習では「地主の詩吟はコブシが回って演歌みでだな」と言われながらも大声張り上げた後のビールの旨いこと!また相馬さんの会社の保養施設に1泊しての今井浜では太平洋に向かって朗吟し山中湖では富士山を仰いでの吟詠は連帯感の向上と、美味い空気を吸って腹から声を出し健康増進とストレス解消の為此からも続けたいと思っております。

詩吟同好会では母校100周年記念行事にも出席し、式典後の懇親会場において「思う秋工創立百周年祝」を朗々と吟じ拍手喝さいを頂き、在県同窓同級生と大いに飲み語り合いました。

また、翌日は二日酔いの中 樺台カントリークラブで同窓同級生とゴル

フを楽しみ、東京秋工会に参加して本当に良かったと実感したものです。

尺八同好会は鈴木彦之さんの指導の下、詩吟同好会の大半が参加しています。鈴木さん手作りの塩化ビニール製水道管の尺八を手に、吹けども吹けども音は出ず現在は小休止の状態です。

釣り同好会は詩吟同好会との合同のおり、試しに釣り船に乗って釣りをしてみたところ、ガキの頃 雄物川でミミズを餌に釣りをしていた頃を思い出し、すっかりはまってしまいました。

田口芳美釣名人は登山・園芸・発明家と森羅万象全てに長けた人で、初心者全員の餌の付け方から「根がかり」の処理と、田口さんの釣りが殆ど出来ない状態でいつもご迷惑の掛け通しで申し訳ないと思っております。

3月15日には伊豆稲取港で大物「カサゴ」?をゲットし、我が才能に目覚め!!「釣竿や道具を揃えようかな!」と言って大笑いされましたが 本人は今だ幻想に気づかずそのつもりであります。

この他に東京秋工会では「けやき会」と称する秋田市にある高校と在京郷土会の組織があり、例年11月に秋田市長や秋田市関連のお客様をお招きしての「在京秋田市政情報交換会」があります。

この会では故郷秋田の現況や秋田出身の著名人の講演があり、憧れの「北高」や「聖霊」の元お嬢様方とお話出来るのが楽しみで鼻の下を長くして必ず出席しています。

また、「けやき会」では「都内に残る秋田ゆかりの地」廻りや、「常陸太田市に残る佐竹氏関連史跡」廻り等のバスツアーを企画していますので随時参加し好奇心の充足と出会いと会話を楽しんでおります。

東京秋工会の会報「KANASA」では編集委員(広告担当)として月1回の編集会議に出席し加賀谷編集長の下、更なる内容の充実を目指し、皆さんに愛される会報作りに努力しています。広告担当としてより多くの賛助広告掲載にご協力お願い申し上げます。

加賀谷さんとは同じ町内の為、編集会議の後の反省会(単なる飲み会)では仲良く酔っ払って電車を間違えない様に指差喚呼しながら帰るのが通例になっておりますが、たまには二人とも居眠りし終点からタクシーの事もあります。

この他に「秋田国体応援ツアー」に参加した時は「秋田県民歌」を歌い秋田県人を実感したり、両親の墓参りや夜は中学の有志同級会をしたりと充実した2日間でした。

また、高校駅伝応援では京都まで「なまはげ」同伴で参加しましたが、関西支部や東海支部の皆さんとスタンドでお酒を呑み交わしながら校歌や応援歌を謳い、楽しい時を過ごしました。

また、昭和37年同期の電気科卒業で吹奏楽部出身の村井忠夫さんは横浜で「Big band 18」と称するバンドのバンドマスターとして43年前から活動していますが、2年に1度 厚木市文化会館大ホールでコンサートを開き、年末には横浜の「クリフサイド」でクリスマスコンサートを行っています。

颯爽と指揮を取り、ライトに浮かびトランペットを吹く姿は我々世代

還暦を迎えて

東京秋工会 幹事

奥山 悦 (昭和41年工業化学科卒)



昨年8月12日、私は初めて秋田新幹線“こまち”に乗り秋田に帰った。

その前年1月首都圏在住の同級生に呼びかけて中田喜代栄君の練馬警察署長就任のお祝いの会を企画、両国駅前にある“ちゃんこ霧島”で開催、だが当の本人は仕事の都合で出席できなかった。その席で来年は還暦同級会を秋田でやろうと提案し皆の賛同をいただき、何年も会ってない秋田にいる同級生の話題で大いに盛り上がった。

16時47分“こまち79号”秋田駅に到着、会場は駅前のホテルメトロポリタン秋田である。フロントでチェックインし部屋に荷物を放り投げて急ぎ会場階へ下りた。

エレベーターから出た瞬間「おお おぐやまだ」22年ぶりに聞く甲高い声の近藤君である。その隣に見覚えのある顔であるが見事に頭部がはげ上がり光り輝いている池田君、もう一人はどうしてもわからず不覚にも「おめだれだ?」「ダルだ」わからないはずで、彼の学校時代はころころと太ってまるでピアダルのような体型のため「ダル」のあだ名であった佐々木秀夫君ですがその面影はすっかり無かった。この3人が地元でみんなに連絡の労を取ってくれた幹事役です。受付でもらった配席表で着席、3年間の着席順と同じ出席番号順で幹事のこの会を成功させようとの並々ならぬ

思いが感じられた。

全員がそろったところで写真撮影の予定との事が1人だけが開始時間を1時間間違えてる(やっぱりえだか)で、ともかく乾杯。頭をかきかき遅れてきた県庁職員の中川君、みんなのブーイングに陳謝後ホテルの写真室に移動して写真撮影、会場に戻ってから池田君の軽妙な司会で全員の1分間スピーチとなった。(時間制限オーバーの人は罰金3千円です)しかし完全に無視、やれ「孫がかわいい」・「庭でなすとキュウリを作ってる」・「ゴルフは百獣の王」等、等、そして席に入り乱れてあちこちで大声で再会を喜びしっちゃんかめっちゃかのうち、あっという間にお開き、42名中22名の参加であった。

2次会は駅前のイトーヨーカドー内の居酒屋、1人を除いてどっと繰り出した「なんであれこねんだ」「おんながいるらしい」……(うらやましな)わいわいがやがやの内に店員のラストオーダーですの声で終了、大半が(きしゃじがんだがらへば)と解散。川反えぐどーで、3次会、日曜日という事もあってろくな店がなくどう見ても我々よりも10歳は上とおぼしいママの(一人3000円でえよ)で12時過ぎまでお約束のカラオケタイム。遅くまで付き合ってくれた4名に感謝感謝心地よく楽しい時間を過ごせた地元での同級会でした。



昭和41年卒秋田工業高校工業化学科同級会

平成19年(2007年)8月12日
於 ホテルメトロポリタン秋田

電気科に学んで、今がある

須田 次彦 (昭和51年電気科卒)



2年生の夏の全校での太平山登山で、8合目付近から苦しい苦しいと言う友の背中を押しながら、頂上に立ち、共に喜んだ。

しかし、夏休み明けで登校した日、その友が亡くなったと、担任の先生から聞く。

事故では無く、白血球が少なくなる血液系の病気だと言う。

今考えて見れば「骨髄性白血病」だったのだと思う。

親戚、近所のお祖父さん、お祖母さん等の訃報には接していたが、同年代でかつ、同級生の訃報はこたえた。

「あの時、俺が無理させて、頂上まで登らせたせいもきつとある…。俺だって、明日はどうなるか分からないのだ…」

秋工を卒業し、名古屋の会社へ就職した。

その会社は、他の事業所も含めて従業員数万人の大企業だったので、とりあえず、生活面の不安・不満もほとんど感じないで、のほほんと過ごしていた。

3食付きの会社の寮住まいで、その寮費と寮の目の前から会社までの会社専用の通勤バス代まで、給与天引きであり、もらう現金は全て使ってしまっても良かった。

財布が空になっても、寮の売店で、日用品、ビール、そのつまみ等ツケ買えば、日々の生活には支障が無かった…

でも、そんな楽な生活でも2・3年もすると、飽きて来る。

しかし仕事の面では逆に、その頃になると責任感をもってやらねば出来ないような仕事を任されるようになる。

それから、5・6年は仕事に気が行って、辞めるような事は考えなかったが、会社の同期の友人達は、ある者は結婚し家庭を持ち、ある者は郷里に帰っていたりしていた。

「おれはこのまま、ここで定年を迎えるのだろうか。」

楽は楽でいい会社なんだけれど…。

でも、自分の可能性はここにしか無いのだろうか…」

勤続10年目に、その会社を辞めた。

退寮した日は、毎日見ていた風景がまるで違って、風までもがキラキラ輝いて見えた。

それは、18歳で秋田を離れる時と同様の感覚だった。

その後、名古屋の会社で身に付けた技能を基に、誘われて、数名でコンピューターのソフトウェア開発会社を興した。

当時は不動産バブル時代であった。

しかし、3年経過し会社経営が安定しかけた頃の1990年にそのバブルが弾けた。

半年先、1年先まで続く見込みであった仕事が突然中断されたりした。

ある日、取引先から売掛金の入金が無い。電話をすると「来週まで待ってくれ」と言う。

次の週になって電話をすると誰も電話に出ない。

その会社へ駆けつけると事務所はモヌケの空。

ビルの大家さんに訊くと、「昨日、出て行った」と言う。

「やられたー」。

そんなこんなで、今の会社も21年がたった。

いろんな辛苦があつて(現在も含め)、些細な事でも喜びを感じられるようになり、何よりも心身共の健康で居られる事に感謝している。今年で、満50歳を迎えた。

元を正せば、秋工の電気科で“電子計算機”なるものを学んだおかげであり、私の人生を決めた本当に重要な年代を過ごしたんだなあ、と今更思う。

もし現役諸君がこれ読んでいるなら、今を大事に過ごして下さい。

2度と戻れない、悩み多くもかけがえのない年代です。

情報サービス事業者として、要求分析、要件定義、基本設計、詳細設計、環境設計・構築、運用設計、運用管理まで、ワンストップでサービス提供できる、システム構築会社を目指しております。

ソフトウェア開発 / システム構築 / システム運用 / インターネット、携帯電話、パソコン等を利用しての、御社の問題解決をご提案し、御社の利益向上へ貢献いたします。

先ずは、お気軽に、ご相談ください。

株式会社 パルシス

代表取締役 須田 次彦 (昭和51年 電気科卒)

〒171-0033 東京都豊島区高田3-28-2 ダヴィンチ高田三丁目3階別館

TEL : 03-5949-4911 e-mail : palsys@palsys.co.jp URL : www.palsys.co.jp



ISO9001 認証取得
(品質管理及び品質保証に関する国際規格)



伝言板

えらぶなを、ぶい学司

●けやき会

東京秋工会 幹事
奥山 悦

(昭和41年工業化学科卒)

けやき会は首都圏に在住する秋田市内の各高等学校同窓会員、郷土会員、及び秋田市東京事務所職員で組織し、会員相互の親睦を図り、会員の首都圏における生活を豊かにするとともに、秋田市との連携を密にし、秋田市勢の発展に貢献することを目的として平成8年新幹線こまちの開通を機に設立された組織です。

昨年の5月23日・24日に会員の親睦の行事として、日光の1泊ハイキング旅行に参加いたしました。秋田南高校出身の榎利美氏の企画のもと、南高校3名・経法大附属高校2名・金足農業高校2名・秋田商業高校3名・秋田中央高校2名・秋田北高校1名・秋田工業高校1名の14名で日光湯元温泉へと2日間の旅です。

日光湯元13時到着、おのおの部屋で一休みののち、宿舎のすぐ前にある湯の湖の湖畔を約2時間の散策、その後待ちわびた温泉をゆったりと堪能しました。

大広間での夕食後、一部屋に集合し大いに懇親を深め、大いに酔っ払いました。ここでなんと、小学校・中学校同窓生が二人も居ることが判明し、びっくりし、遠い昔の子供の頃の話に盛り上がる事が出来大変楽しい時間を過ごしました。

2日目は、さわやかな五月晴れのもと、湯滝一戦場ヶ原一竜頭の滝と巡る3時間半のハイキングを楽しみ、路線バスにて東武日光駅へ、スペーシアで各自帰宅の途についた。



日光湯元 おつるり山荘前
日光ハイキング旅行

半世紀ぶりに開催された秋田わかずぎ国体に9月28日から30日までけやき会として28名の参加、秋田市役所への表敬訪問、開会式参加・懇親会の実施も行われました。

そして、いよいよ11月21日には「在京秋田市政情報交換会」が佐竹敬久秋田市長出席のもとJR市谷駅前のスクワール麴町にて以下の参加で行われました。

国会議員・官公庁関係・協賛企業・秋田市関係者・我が秋田工業高校・聖霊短大附属高校・秋田北高校・秋田高校・秋田南高校・秋田商業高校・秋田中央高校・秋田経法大附属高校・金足農業高校・新屋郷土会等、計165名

次いで、市長への質疑応答で始まり国会議員・市議会議長のあいさつの後、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏・文部科学省事務次官の銭谷眞美氏・国体開会式の式典前演技の制作に尽力された映像美術監督の及川一氏・作曲家の天野正道氏・秋田市でフリーペーパー創刊をされた渋谷明美氏・秋田ノーザンブレッツR.F.CのGM新田康史氏、等各界で活躍されている方々のお話で盛り上がり、他校との交流もあり盛況のうちに終了しました。



在京秋田市政情報交換会

【20年度のけやき会の活動予定】

1. 佐竹氏縁の地、角館を巡る旅行

- 月日：平成20年9月8～9日
- 場所：角館周辺

平成19年8月佐竹氏有縁都市秋田市・仙北市・日立大田市で三市連携交流提携を結んだ。今回のその中で佐竹秋田市長の出身地を訪ねるものです。

- 申込み：奥山悦

(電話 03-3611-6066 / 携帯 090-5771-1743)

2. 秋田市政情報交換会

- 詳細未定

3. ハイキング

- 高尾山、詳細未定

出会いを大切に……

和風倶楽部

和風

〒104-0061 東京都中央区銀座六丁目十九番

若松ビル三階

電話 03-3557-2195

FAX 03-3558-4024

お気軽にお電話くださいネ……

丸の内線 銀座駅・ソニービルより3分
銀座線

天野真規子

(秋田県出身)



オープンして28年、
安心して飲めるお店です。

カラオケで一杯は<ジェイトス>へ

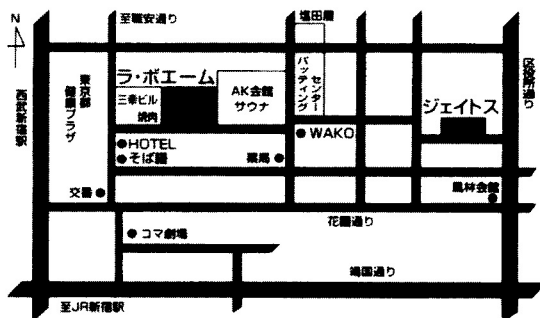
ジェイトス ☎03-3209-8894
新宿区歌舞伎町2-21-3第6本間ビル3F 〒160-0021

落ち着いて飲みたい時は<ラ・ボエーム>へ

La Bohème ☎03-5273-0881
新宿区歌舞伎町2-39-2三幸ビルB館3F 〒160-0021

<http://www.t3.rim.or.jp/~laboheme>
E-mail : laboheme@t3.rim.or.jp

- 両店とも、大曲出身のママのお店です。
- 秋田出身の方、ボトルサービスいたします。(初回のみ)



●秋高連

東京秋工会 新会長

三平 俊悦

(昭和39年 建築科卒)

平成19年度の秋高連総会は平成19年7月17日(火)アルカディア市ヶ谷私学会館にて開催されました。

秋田県根岸教育長、衆議院議員菅総務大臣(湯沢高出身)、その他多くのご来賓のもと、45校総勢約350名、東京秋工会から11名参加しました。学習院大学教授、前東京大学総長、佐々木毅(秋田高出身)氏の演題「私の育った秋田」を講演していただきました。

平成19年度会の運営につきまして、運営委員会(各校2名、122名の構成)のもと、役員会(4回)、運営委員会(5回)、事務局連絡会(12回)、論点検討小委員会(4回)開催し、総会準備、秋田わか杉国体、応援支援コンサート等その他各種行事に参加し支援しております。

また、秋高連に加盟する在京秋田県高等学校同窓会はそれぞれの母校の伝統と校風を尊重しつつ、各同窓会同志の立場を深めることを目的として、秋高連憲章と行動指針を制定(20年4月1日)しました。

平成20年度事業計画(案)は下記の通り予定となっております。

1. 第59回全国植樹祭 6月15日 北秋田市「秋田県立北欧の杜公園」
2. 秋高連絆(きずな)の植樹 6月16日 秋田市 明徳館内
3. 全体総会(総会報告・講演会・懇親会) 7月23日(水) 18:00
4. 皇居内庭園・建築物特別参観 秋季予定
5. 秋高連忘年会(11月下旬)
6. 在京高校同窓会の動向、情報調べ(休眠会員の把握と新規勧誘)

秋高連は会員相互の親睦を図り、秋田県との連携をとり各母校ならびに秋田県勢の発展に貢献することを目的としております。皆様方にも積極的に参加していただき、種々情報収集や親しく交流を図れることとなりますので引き続きご協力ご支援をお願いします。

なお、澤木前会長には秋高連顧問としてご指導賜っております。



●詩吟同好会

東京秋工会 監事

代行 **鈴木 彦之**

(昭和31年 機械科卒)

毎年、東京秋工会の総会で詩吟を披露していますがリーダーの相馬洋風師がしばらく休憩中で、新会員も加わり今後も継続して精進するためには、相馬氏の師匠である川村溪泉先生から直々に(一時は中断していましたが)また再開して教わることになりました。母校の100周年記念では、詩吟同好会が懇親会の席上、相馬洋風作詞の「秋工創立百年を祝う」と題し、10名で合吟をして喝さいを浴びました。

詩吟の師匠の資格を持つリーダーのもとで、活動することがもっと活発になると思いますが、今はしばらく、多くの詩を吟じて確実に覚えることで、この同好会を継続していこうとメンバー一同奮起しているところです。今年の総会までに月1回の練習を重ね、発表できるようがんばってみようと思っています。

●パソコン同好会

東京秋工会 副幹事長・HP担当

工藤 良

(昭和36年 機械科卒)

<http://www.akiko-tokyo-dosokai.org/>をクリックすると【トップページ】に入ります。左下の【会員入口】をクリックして【会員認証ページ】に移り、《会員パスワード》を入力し【HP会員専用ページへ】をクリックすると【会員ページ】に入れます。

【会員ページ】には、【お知らせ】【掲示板】【同好会】【会報】や《名簿パスワード》入力で閲覧できる【会員名簿】などがあります。

【トップページ】



【会員認証ページ】



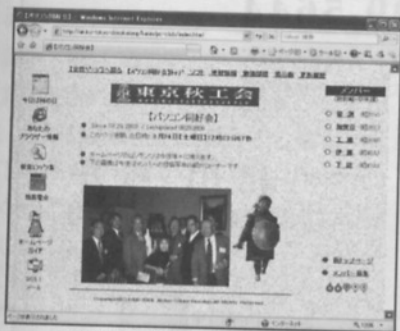
【会員ページ】

【会員ページ】

【東京秋工会ホームページ】を旧友同士の交流や故郷情報・旅行の写真・穴場情報提供などに活用していただきたいと思います。'05/6の公開1年後のアクセスカウンターの分析結果、インターネット接続環境を持っていない会員がまだまだ多い様に推定しました。

そこで、まずは現在ページを見ている皆さんのパソコンライフに関する情報交換や、パソコントラブル相談（相互アドバイス）等を通して【東京秋工会ホームページ】内での相互交流を活性化し、徐々に、アクセス環境の有る友人や、まだパソコンに触れていない友人などに輪を広げて行けないものかと考え、【パソコン同好会】を'06-8/29にスタートしました。

【会員ページ】から【パソコン同好会】ページに入れますが、ここでその一部を紹介します。



【パソコン同好会トップページ】

この他に、【メンバーのページ】【検索エンジンページ】【フリーソフト】入手の参考ページなどがあります。【掲示板】や【SOS】を利用してパソコントラブル対応相談や相互情報交換なども簡単に行えます。

現在のメンバーは5名ですが、新規入会大歓迎です。



【地域情報】



【勉強部屋】

— 総会案内 (表紙・裏ページ) の続き —
歌とギターによる秋の昼下がり

● 演目 歌 (ギター伴奏)

- ① みかんの花咲く丘
- ② 中国地方の子守歌
- ③ 椰子の実
- ④ 故郷
- ⑤ 学生時代

ギター独奏

- ⑥ 禁じられた遊び
- ⑦ 白い恋人たち
- ⑧ 悲しい酒

歌 (ギター伴奏)

- ⑨ シクラメンのかほり
- ⑩ 涙そうそう
- ⑪ 乾杯の歌

● プロフィール

中谷 麻利江 Marie Nakatani ソプラノ歌手

国立音楽大学声楽科卒業。数少ないコロラトゥーラソプラノとして卒業演奏会出演 (朝日生命ホール)。

NHK東京放送合唱団在籍。教育テレビ番組「世界の音楽」などに出演。

神奈川県立音楽堂推薦音楽会、戸塚クラシックコンサート等各オーデション合格。各種コンサート、FM放送に出演。

京都市立芸術音楽大学教授常森寿子氏に師事。日本とイタリア歌曲・オペラ・アリア等でリサイタル活動。

岩見谷 洋志 Hiroshi Iwamiya ギタリスト

1966年 (昭和41年) 秋田工業高校電気科卒、富士通入社、20歳からギターを北村謙氏、音楽理論を作曲家藤田耕平氏に師事。1976年富士通退社、ウイーン国立音楽大学ギター科に留学。世界三大女流ギタリストであるルイゼ・ワルカー教授に師事。実技理論を終了し1979年帰国。

現在、東京・横浜を中心としたコンサートで活躍。また、ギター講師として関東一円で教授活動が続いている。NHK-FM、TOKYO-FM、民放ラジオ・テレビにゲスト出演。

設計・監理

株式会社 渡辺佐文建築設計事務所

代表取締役会長 渡辺佐文 (昭25建築科卒)

代表取締役社長 池田 匠

取締役 櫻庭星治 (昭46建築科卒)

取締役 北嶋信義 (昭47建築科卒)

〒010-0954 秋田市山王沼田町6-8

TEL 018-863-8431 (代) FAX 018-863-8432

E-mail: watanabesabun@nifty.com http://watanabesabun.com

●尺八同好会

東京秋工会 監事

鈴木 彦之 [竹号：焔山]

(昭和31年 機械科卒)



今年も4月20日に都山流尺八楽会の演奏大会が日比谷公会堂で行われ、今年で77回を数えました。私の生まれる前から行われていることとなりますが、都山流が創立して113年となります。今では全国で師匠が6千人、東京でも300人を数えます。秋田ではたったの7名ですが、地元では民謡の尺八が多く、琴古流と思われます。今回の演奏大会は、尺八が約200名、お琴と三味線の方が13社中で約300名、正午から始まって夕方6時まで19曲の大会でした。都山流の名の知れた演奏家は人間国宝の山本邦山、若手では藤原道山がよくテレビに出て幅広いジャンルの曲を演奏しています。

尺八という楽器は中国、唐の時代(奈良時代)に日本に伝わってきたといわれています。長さが1尺8寸から付いた名前、江戸時代には虚無僧が、たく鉢に用いて、明治以降は中尾都山、宮城道雄らの活躍で芸術音楽として発展してきたものです。

尺八は天然素材の真竹を使い、いまだに1本1本、製管師といわれる人の手で作られています。そもそも竹自体に同じものが無く、従って、すべてが手作業で同じ条件になるように作るが、それぞれが微妙に違って、吹く人の体格や唇の形に合ったものが求められます。尺八の構造は簡単に竹筒に5個の穴があいているだけです。内径の寸法が中で狭くなる箇所があって、その調律によって音のよし悪しが決まります。尺八を買う場合は何本かを鳴らしてみ、自分に合ったものを選ぶのが一番です。と言っても初心者は音も出ず、自分では選ぶことが出来ない、最初は塩ビ管かあるいは木管の比較的安い尺八で訓練し、正しく音が出るようになってから、自分の気に入った尺八を求めた方が安心です。また専門家に立ち会ってもらい選ぶ方法もあります。

上手に吹けるようになると最終的には本物の竹の尺八で吹いてみたいと思うようになります。尺八同好会もそろそろ塩ビ尺八ではもの足らず正式な楽器として所有したい会員もおりますので皆さんの意見を聞き、対応していきたいと思っています。何時になったら総会の皆さんの前で、合奏ができるか、期待しないで、いや期待して待っていて下さい。



居酒屋 大人気! 元祖
めんたい玉子焼

どんたく

唐木田店

電話 042-389-1009

営業時間
PM5:00~AM4:00
〒206-0034
多摩市鶴牧2-23-7
AIビル101

Bon

会員制スナック・ボン

TEL.03-3409-5644

渋谷区渋谷1-15-16 第二ソーシャルビルB1F
<http://www.homepage3.nifty.com/ckikabon/>

ママ 北出 ちか
(谷藤元東京秋工会会長・姪)

miehle
株式会社 ミイレー

販売促進ツール制作
・会社案内 ・パンフレット ・DM等

www.miehle.co.jp

代表取締役 米倉 伸三
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-3-6
TEL.03-3263-3641(代) FAX.03-3263-3669

●ゴルフ同好会

東京秋工会 会長

三平 俊悦

(昭和39年 建築科卒)

第32回ゴルフ会は、平成19年12月1日(土)熊谷カントリークラブに於いて、6組22名(初参加4名)で開催いたしました。

当日は12月というのに好天に恵まれ暖かく、ゴルフ日和で言い訳できないコンディションでした。ゴルフ場は歴史ある名門ゴルフ場で、コースはフラットな林間コース、バンカー池にガードされた戦略性に富み、グリーンが小さく、かつ、高速で3パット4パットで皆様大苦戦、19番ホールの酒のさかなになりました。ルールは鎌田会長から厳しく、スルーザグリーンノータッチ、パットOKなし完全ホールアウトとなり、皆様結果は別として真剣に取り組まれたことと思います。

個人戦はハンデ戦、団体戦は組の上位3名ネットスコアトーナルで戦いました。成績は下記の通りであります。

ホールアウト後のパーティーは忘年会を兼ねて大いにお酒を酌み交わし、おもしろ、おかしく楽しい19番ホールでした。その後赤坂方面に二次会、三次会と痛飲した方も居られた様です。当校諸先輩はお酒が強く、お元気で頼もしい限りです。

今回も鎌田大会会長からご寄付いただきまして有難く感謝致しております。なお、今度もゴルフ会として東京秋工会に寄付(金45,000円)する事が出来ました。ゴルフ会参加者の皆様にお礼申し上げます。

平成19年12月1日(土)

個人成績								
RANK	NAME	卒科	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET	新HDCP
優勝	伊藤 昭	36M	45	50	95	20	75	14
準優勝	加藤 善雄	31M	49	54	103	27	76	21
3位	川村 紀男	36M	45	45	90	13	77	11

団体戦							科対抗 上位3名 NETスコア		
RANK	NAME	卒・科	GROS	HDCP	NET				
優勝	4組 川村 紀男・池田 護 佐藤 文寛・木元 隆	36M	280	49	231				
準優勝	3組 藤田 昌博・宇佐美荘三 杉山 孝治・山本 修一	39A 35A・40A	288	48	240				
3位	5組 伊藤 昭・加藤 善雄 地主 勝己・宮川 良一	36M・31M 37C・34M	317	73	244				

第33回ゴルフ会は、平成20年6月11日(水)大利根カントリークラブに於いて、7組26名(初参加1名)で開催いたしました。

6月1日よりつゆ宣言となり天候不順が続いていましたが、当日は曇天で暑くもなくゴルフ日和でした。大利根カントリークラブは名匠として知られる井上誠一氏の設計によるコースで、日本女子オープン、日本オープン選手権など幾多の公式戦が行われた名門中の名門コースであり本年も11月3日~9日レクサス選手権が開催されます。当会はゴルフ好きな連中の集まりですが名門コー

●会秋同基固●

スに挑戦したい気持ちと、又19番ホールの飲み会を楽しみにしており7組もお集まりいただき、幹事としてうれしく思っております。やはりコースは難しく距離も長く、グリーンが速く全員手こずりスコアもあまり良くなかったかと思えます。しかし、ステディーなゴルフをする生駒茂氏が第18回から参加して、念願の優勝することができ皆様から厚い祝福を受けました。その他の方達は花よりダンゴの方で、パーティーは何時も通り盛り上がり「親睦と絆」が益々深まった事と喜んでおります。

今回も鎌田大会会長、富岡幹事からご寄付いただきまして有難く感謝致しております。なお、今回もゴルフ会として、東京秋工会に寄付(金30,000円)する事が出来ました。ゴルフ会参加者の皆様にお礼申し上げます。

平成20年6月11日(水)

個人成績										西コース	
RANK	NAME	卒科	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET	新HDCP			
優勝	生駒 茂	33C	45	46	91	16	75	11			
準優勝	染谷 達男	47K	46	43	89	14	75	11			
3位	小坂 正行	32M	46	44	90	14	76	12			

団体戦						科対抗 上位3名 NETスコア		
RANK	NAME	科	GROS	HDCP	NET			
優勝	2組 鎌田 満雄・生駒 茂 真坂 正昭・小野 鉄雄	土木	313	70	243			
準優勝	5組 杉山 孝治・近藤 高志 藤田 昌博・下総 勉	建築	297	53	244			
3位	3組 佐藤 進・齊藤忠四郎 小坂 正行・三平 俊悦	機械 建築	295	48	247			



表彰

会長



第33会ゴルフ会 集合写真

次回は10月15日に34回ゴルフ会を染谷厚子さん紹介でエントリーしてもらい、千葉カントリークラブ 川間コースで9時24分スタート開催します。なお、費用プレー代約12,500円・会費10,000円、連絡先は三平俊悦迄。多くの方々にご参加お願い致します。

FAX : 03-5730-1475 E-mail : mihira@alps-land.co.jp

●囲碁同好会

東京秋工会 幹事長

小野 鐵雄

(昭和38年 土木科卒)



囲碁同好会の連絡先

〒279-0011 浦安市美浜五丁目6-1003

小野 鐵雄 (昭38年土木科卒)

TEL&FAX 047-352-8925 携帯 090-6566-7936

E-mail safety-con_tetsuo_o@pa2.so-net.ne.jp

東京秋工会囲碁同好会は、3月、6月、9月の最終土曜日、12月は第三土曜日の13:00から、東京駅八重洲南口前の住友生命ビル地下一階「いすみ囲碁サロン・八重洲」で開催しています。

囲碁同好会の参加人員は17名で前年より4名増加しており、加藤捷治氏 (S38年K卒) 七段をトップに三段4名、二段5名、初段2名、1級~5級5名のメンバーで棋戦を行っております。

平成19年度からの新参加組は、三浦賢悦二段 (S39M卒)、橋本順治二段 (S31E卒)、佐藤進初段 (S32M卒)、石黒美鶴初段 (S46E卒) です。

囲碁の楽しみは、棋力とハンデによって対等に近い戦いが行われることにあり、初心者も高段者に挑戦して勝つ喜びを味わい、かつ棋力の向上を目指すことで思考力、決断力、持続力の向上・維持を図りたいものです。

また、戦いの後は近くの居酒屋で懇親会・反省会で盛り上がっていますので、併せて参加をお願いします。

平成19年度 東京秋工会囲碁対戦成績表

卒業年度	氏名	持点	階級	勝	負	勝敗差	次回持点	次回段位	
1	昭和38年化	加藤 捷治	100	七段	3	3	0	100	七段
2	昭和37年電	伊藤 洋輔	68	三段	9	5	4	72	三段
3	昭和32年化	大塚 廉造	70	三段	10	9	1	71	三段
4	昭和34年化	石井 勝雄	66	三段	4	4	0	66	三段
5	昭和39年機	三浦 賢悦	57	二段	11	3	8	65	三段
6	昭和38年建	宮越 敏光	65	三段	5	7	-2	63	二段
7	昭和41年電	赤川 均	58	二段	9	4	5	63	二段
8	昭和31年電	橋本 順治	59	二段	5	3	2	61	二段
9	昭和30年化	村井 恒夫	58	二段	4	4	0	58	二段
10	昭和38年土	小野 鐵雄	57	二段	8	9	-1	56	二段
11	昭和32年機	佐藤 進	54	初段	5	3	2	56	二段
12	昭和46年電	石黒 美鶴	50	初段	0	3	-3	47	初段
13	昭和43年電	田口 芳美	42	一級	10	9	1	43	一級
14	昭和40年土	門脇 隆	34	二級					二級
15	昭和32年電	富田 鉄人	29	二級	5	12	-7	22	三級
16	昭和26年電	澤木 誠一	10	四級	6	11	-5	5	五級
17	昭和37年電	進藤 利美	6	五級	0	5	-5	1	六級

www.saito-group.com/

株式会社 斉藤建設

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4丁目5番8号
 TEL.0467-25-0567(代)
 FAX.0467-23-3972

取締役 **北 塾 博** (昭44 建築科卒)

季節料理・鍋料理

女優の卵に
会えます!

代表 小林 昭博

〒0100751
 港区三田三ー一十九
 電話〇三(三四五四)七二〇四

東京秋工会推薦店

ママ秋田美人(毛馬内出身)

宴会26名程度

●ハイキングクラブ

東京秋工会
堀 健市

(昭和38年建築科卒)

世話役 田口 芳美
(昭和43年電気科卒)



東京秋工会スキー&山の同好会は、名称を東京秋工会ハイキングクラブと変更し、山歩きを主とした気軽に参加できる親睦会として、新たにスタートいたします。

当面は高尾山周辺の散策を中心とした活動を行い、会員の要望により、活動範囲を変更したいと考えております。

特別な装備や、技術も必要とせず、誰でも参加できます。四季折々の山を楽しむ会として運営して行きたいと考えております。

気分転換に、メタボ対策に、また、うまいビールを飲むためにぜひメンバーに参加して下さい。

ハイキング始めは10月25日(土)に高尾山で行います。集合時間などは参加者の住所を考慮の上で決定いたします。

家族・友人・知人などと一緒に参加下さい。

当面は1月、4月、7月、10月の4回開催を予定しております。

さらに皆様のご希望により別途で、特別開催も考えております。

新生ハイキングクラブへの参加希望、開催内容の希望など、ぜひ東京秋工会事務局に連絡をお願いいたします。

会我同で哉

おあしす
「あい」

新宿区歌舞伎町2-39-8

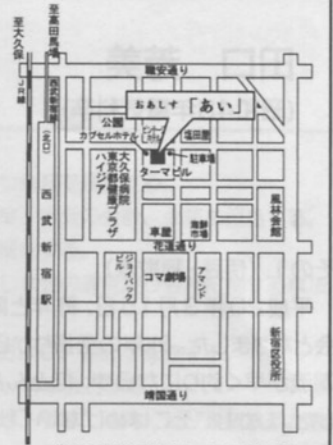
ダーマビル5F-D

TEL: 03-3232-2600

営業時間: 午後7時~午前2時

パーティー・二次会・宴会など
ご予算に応じて御承り致します。
お気軽にご相談下さい。

ご連絡は高橋まで。
(昼連絡先: 03-5389-1606)



◇西武新宿駅から徒歩2分

◇JR新宿駅から徒歩12分

◇東京メトロ丸の内線
新宿駅から徒歩7分



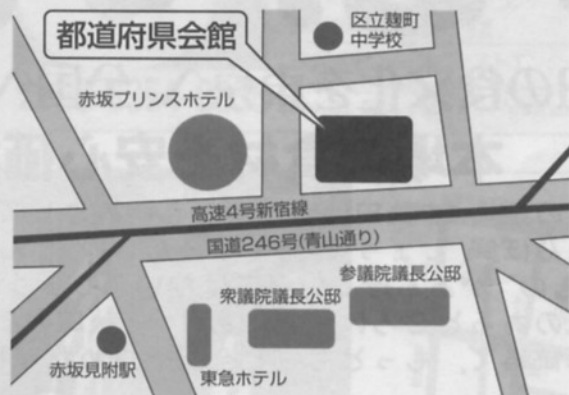
M36ミミ同級会三次会
S36Eミミ同級会三次会

秋田への就職・定住応援します!

Aターンプラザ秋田

「Aターンプラザ秋田」では、秋田県内の求人・住宅等各種各種情報の提供や、Aターン就職に関する相談を行なっております。どうぞご利用ください。

開庁時間/平日9時~17時45分
休日/土・日・祝日・年末年始
フリーダイヤル/0120-122-255
所在地/東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館7階
秋田県東京事務所内



●地下鉄有楽町線永田町駅 5出口から連絡通路を経て徒歩1分

●Aターンに係る各種イベント等の情報は、(財)秋田県ふるさと定住機構のホームページをご覧ください。

<http://www.furusato-teiju.jp/>

●「秋田県定住支援総合情報」もご覧ください。

<http://www.pref.akita.lg.jp/teiju/>

●釣り同好会

田口 芳美

(昭和43年電気科卒)



その1. (伊豆・稲取港)

平成20年3月15日、昨年と同様に「詩吟同好会」と合同の釣りに会となりました。昨年の空振りから大漁期待の出船でしたが、大潮で潮流が早く釣りにならず、ほとんど“ぼうず”の参加メンバー7名でした。しかし、そこはめげない“秋工OB”達、すぐに再戦を決定、東京湾での意気込みを着に反省会、氣勢を上げた。

その2. (三浦半島・金田港)

6月7日、再戦当日は季節はずれの台風一過から2日。晴天、そよ風の釣り日和に恵まれ、期待に胸を躍らせながらの出船。参加者は一部メンバーの入れ替わりはありましたが、7名で前回と同じ。今回は欲張り企画で、午前中はイワシを付けエサにした“めばる”ねらい、午後は浅場で“キス”をねらう、の2本立て。(さお、道具が同じでよいため)

さて成果はと言うと、序盤はあたりも無く寂しい釣り風景。が、何回かポイントを変えているうちに、釣れ始め、30cm近い“めばる”・“かさご”があたり始めた。良い人は、ダブルで釣り上げ、小さくても手のひらサイズ。船中は笑顔、笑顔の恵比須様ばかり。

トップは12匹の地主さん、奥さんからの電話に“大漁だ”、“本当だ”

と説明におおわらわ。さらには、切れる包丁を買いに行かねばならぬな、とか、加賀谷さんにはお土産を届けなくて、取りにきてもらう、とか、大はしゃぎの船上でした。

初参加の鷺谷さん、伊藤さんも2けた近い成果を上げたが、釣れるはずがないとの思いでクーラーは持たず、どうやって持ち帰ろうかと困り顔の鷺谷さん(帰りに簡易クーラーを購入)。さばくのに明日までかかりそうだと、うれしい悩みの伊藤さん(本当は自慢?)。近頃では珍しいと、船頭さんも驚くほどの釣れ具合。

午後は予定通りの“キス”釣り。こちらは、風が出てきたこともあって、あたりがわからず、ポツポツの釣果。“キス”・“トラギス”・“メゴチ”・“アナゴ”・“カワハギ”が釣れたものの、通常の“キス”釣りとは趣きの異なるものでした。とはいえ、“キス”は良型が多く、それなりに楽しめたかと思えます。そして、“トラギス”をエサにして“メゴチ”を狙い、小型ながら、一匹上がったのが、午後の部のクライマックスとなりました。

釣り同好会では、参加会員を募集しております。経験・年齢など条件は一切ありません。釣りをしてみたい方、釣りたての刺身を味わいたい方、是非『釣り同好会』にご参加下さい。計画のつど釣りの開催案内を送付させていただきます。

“はがき”での入会だけでなく、東京秋工会事務所に電話などでの連絡でもOKです。



秋田比内地鶏専門店

とび内や

やきとりから
きりたんぽ鍋まで

蒲田西口店

秋田の食文化を東京へ、全国へ発進します。

本場の食材を安心価格で…

私達のふる里、秋田は比内地鶏を初めとして、いなにわうどん、きりたんぽ鍋、しょっつる鍋、じゅんさい、とんぶり等たくさんの“旨いもの”がある珍しい県ではないでしょうか。

文化のあるところに食文化あり…秋田の高いレベルの食文化を安心価格で、もっともっと全国へ広めたいと思います。

JR京浜東北線・蒲田駅西口より徒歩3分

☎ 03-3731-3115

個室4室・床の間付き
6名様～最大50名様迄
お料理コース 3,150円より
飲み放題 お一人様 1,575円
年中無休・お電話2時より

(株)いなにわ

☎ 018(839)6718

代表取締役 熊井春美(昭43 機械科卒)

比内や川反店・秋田藩・かまくら家・
わさび家 他 計9店直営

あき こう
東京秋工会規約 (案)

- 第1条 本会は、秋田県立秋田工業高等学校同窓会 東京支部という。略称を東京秋工会（とうきょうあきこうかい）とする。
- 第2条 本会は、秋田工業高等学校卒業生であって、東京ならびにその近県に在住するものをもって組織する。
- 第3条 本会は、母校の発展に寄与すると共に会員相互の連繋を密にして、それぞれ携わるその事業の向上と併せて会員相互の親睦を図るのをその目的とする。
- 第4条 本会はその目的を達成するため、必要に応じて事業を行う。
- 第5条 本会事務所は、アルプスランドプロパティーズ（株）に置く。
所在地：東京都港区三田3丁目2番3号 万代三田ビル601
- 第6条 本会に次の役員を置く。
会長1名 副会長若干名 幹事長1名 副幹事長若干名 幹事若干名 監事2名
- 第7条 役員を選出は、次の通りとする。
1. 幹事は、総会に於いて選出する。
2. 会長、副会長、幹事長、副幹事長、監事は幹事会の互選とする。
- 第8条 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 第9条 本会に名誉会長、顧問及び相談役をおくことができる。その選任は、幹事会の推薦による。
- 第10条 役員職務は次の通りとする。
1. 会長は、本会を代表して会務を総括する。

2. 副会長は、会長を補佐し会務を運営する。
3. 幹事長は、幹事会の招集、本会の会計、会務を担当する。
4. 副幹事長は、幹事長を補佐する。
5. 幹事は、幹事会を構成し本会の運営及び会務に関する事項を審議する。
6. 監事は、本会の会務、および、会計を監査する。

- 第11条 本会の会議は、総会、及び、幹事会とする。
定時総会は、毎年1回招集し、予算、決算、及び重要事項を審議決定する。
なお、必要あれば臨時総会を開催することができる。
幹事会は、必要の都度幹事長がこれを招集する。
- 第12条 本会の経費は、会費及び寄付金で賄う。
- 第13条 本会の維持会費は、1年額3千円とする。
但し、総会又はこれに準じる会費は、別途その都度徴収するものとする。
- 第14条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第15条 本規約の改正は、総会の決議によっておこなうものとする。ただし、本会事務所の変更は幹事会の決議によっておこなう。（付則）
- 第16条 第1条、第5条、第15条の改正に伴い、本規約は平成20年11月15日から実施する。



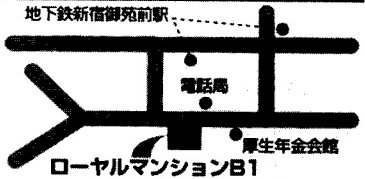
音羽亭
OTOWATEI

地鶏串焼割烹
音羽亭

TEL. 3345-9434
新宿区西新宿6-6-2 ヒルトンホテルB1
◆営業時間/PM5:00~PM10:00 ◆日曜・祭日はお休みです。
(ランチタイム/AM11:30~PM1:30)

Office "J" & RESTAURANT & JAZZ SPOT

パーティー・ミニコンサート・二次会等にJをご利用ください。
(日・祭はもちろん平日でも貸切りいたします)
地下鉄新宿御苑前駅



電話 03-3354-0335
〒160-0022 新宿区新宿5-1-1 ロイヤルマンションB1
■営業時間 6:00PM~12:00PM
バードマン桑田=司会・S&X・コンサートプロデュース
代表取締役 幸田 稔
株式会社 ノースウェストエンタープライズ
〒160-0022 新宿区新宿5-1-1 ロイヤルマンションB1
FAX.03-3354-0356 <http://www.jazzspot-j.com>

秋田の酒と料理

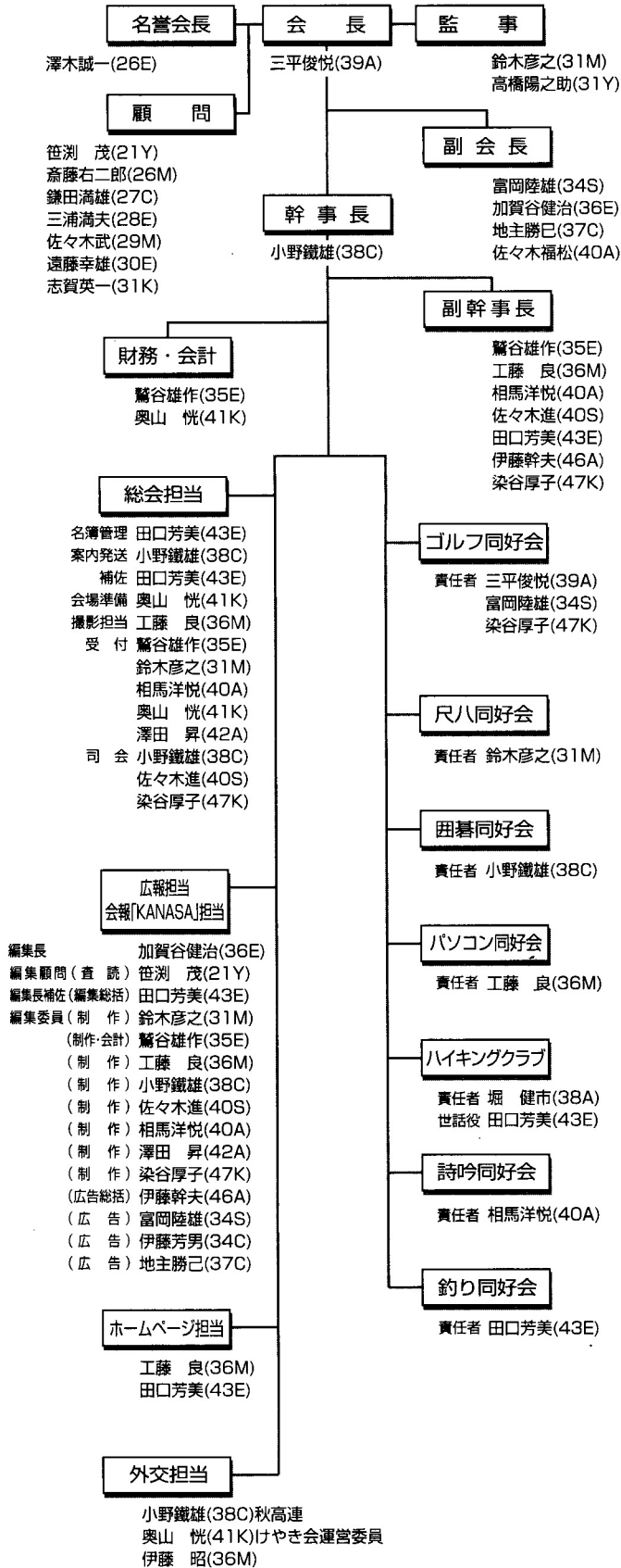
広島



新宿区新宿1-18-7 ひとみビル
電話 03-3358-5158

役割組織図

役員・幹事



- 名誉会長 澤木 誠一 昭26E
- 顧問 笹淵 茂 昭21Y
- 齊藤右二郎 昭26M
- 鎌田 満雄 昭27C
- 三浦 満夫 昭28E
- 佐々木 武 昭29M
- 遠藤 幸雄 昭30E
- 志賀 英一 昭31K

- 会長 三平 俊悦 昭39A
- 副会長 富岡 陸男 昭34S
- 加賀谷健治 昭36E
- 地主 勝己 昭37C
- 佐々木福松 昭40A
- 監事 鈴木 彦之 昭31M
- 高橋陽之助 昭31Y
- 幹事長 小野 鐵雄 昭38C
- 副幹事長 鷺谷 雄作 昭35E
- 工藤 良 昭36M
- 相馬 洋悦 昭40A
- 佐々木 進 昭40S
- 田口 芳美 昭43E
- 伊藤 幹夫 昭46A
- 染谷 厚子 昭47K
- 幹事 菊池 輝男 昭31E
- 辻村 豊昭 昭34E
- 宮川 良一 昭34M
- 伊藤 芳男 昭34C
- 伊藤 昭 昭36M
- 井上 一 昭39E
- 三浦 芳暉 昭39K
- 奥山 恍 昭41K
- 澤田 昇 昭42A
- 田中 和成 昭42A
- 北埜 博 昭44A
- 下総 勉 昭47A
- 舩木 一美 昭48M

哀 悼

平成19年度の総会案内の返信ハガキ・その他により、次の方たちのご逝去の連絡がございましたので、ご報告いたします。

成田 廣	(昭和 4年 電気)	平成11年
山崎 衆平	(昭和21年 機械)	平成17年
八柳 善咲	(昭和43年 電気)	平成17年 3月
加藤 庄八	(昭和42年 電気)	平成18年 9月14日
長谷川鉄太郎	(昭和13年 建築)	平成18年10月17日
安達 貴	(昭和16年 採鉱)	平成19年 1月12日
● 清野 清美	(昭和36年 機械)	平成19年10月

以上7名の方のご逝去が確認されました。
心よりごめい福をお祈りいたします。



編集後記

会報KANASA VOL.14で「秋工ラグビー栄光の復活に向けて」プロジェクトの立ち上げを呼びかけました。これに共感した関係者が復活に向け行動を起こしました。

母校では、熊谷隆益校長が先頭に立ち、ラグビー部スタッフを刷新し体制の強化を図りました。昭和62年全国優勝を果たした黒澤光弘監督が7年ぶりに母校に戻りラグビー部監督に就任しました。ラグビー後援会も軍資金集めから活動を開始しました。

学校当局、ラグビー後援会、ラグビーOB会、そして同窓生が「秋工ラグビー栄光の復活」という目標に向かって活動する事により、近い将来「強豪秋工ラグビー」が不死鳥のようによみがえることを期待し、この先を楽しみに支援して行きたいと思えます。

さて、今年の東京秋工会総会は平成20年11月15日(土)13:00から「アルカディア市ヶ谷」で開催致します。アトラクションには、岩見谷洋志(昭和41年電気科卒)さんのご好意により、中谷麻利江さんと「歌とギターによる秋の昼下がり」と題して、昔懐かしい心休まる曲の数々を演奏してもらいます。平成16年の総会で出演していただき評判が良かったメンバーの再登場です。大変楽しい会になるものと思えます。同級会を併せて行うなど、多数の同級生をお誘いし参加者増員にご協力頂きたくお願い申し上げます。

今号VOL.16から、[母校たより]として、秋田工業高校の最近の動きをカラー印刷で紹介する事にしました。本記事のため、同窓会本部幹事長原田誠先生、会報編集長志賀新一氏、そして秋田魁新報社の協力を頂きました。改めて御礼申し上げます。また、同時に賛助広告のカラー化のため広告掲載料金値上げにご協力頂いた方々にも感謝致します。

東京秋工会の活動も活発になっております。皆様のご協力で会費納入も243名に増加しました。引き続き東京秋工会ならびに母校の発展のためご支援頂きたくお願い申し上げます。

会報KANASAはVOL10から体制を一新し制作してきました。しかし原稿作成は幹事中心であり、もっと一般会員の記事を増やす必要があります。会員の皆様には、エッセイや絵画ならびに詩歌などを趣味にしている方が多いと思えます。趣味の成果を発表する場としては非会報KANASAに投稿していただきたいと思えます。

また、会報KANASAの制作は幹事のボランティア活動に頼っておりますが、内容を充実させる都度業務も増加しております。会員の皆様の中で、編集業務や賛助広告募集などを編集委員として協力していただける方を募集します。ご協力いただける方は「東京秋工会事務局」までご連絡頂きたく宜しくお願い申し上げます。

東京秋工会副会長／会報KANASA編集長
加賀谷 健治 (昭和36年電気科卒)

賛助広告 ご協力企業一覧

広告サイズ	企業名	氏名	卒業年次・科	所属	掲載ページ
1/2	澤木萬國特許事務所	澤木 誠一	26E	東京秋工会	5
カラー	鎌田工業株式会社	鎌田 満雄	27C	東京秋工会	裏表紙
カラー	アイシン産業株式会社	宮川 良一	34M	東京秋工会	41
カラー	株式会社トミヨシ商会	富岡 陸男	34S	東京秋工会	41
	株式会社いなにわ「比内や」	熊井 春美	43M	秋田本部	36
	和風倶楽部「鮎」	天野真規子	—	—	29
	ジェイトス/ラ・ポエーム	深田 順子	—	—	29
	Aターンプラザ秋田	—	—	—	35
1/4	株式会社渡辺佐文建築設計事務所	渡邊 佐文	25A	東京秋工会	31
カラー	三浦謹之助税理士事務所	三浦 謹之助	21A	東京秋工会	22
	季節料理「みの」	小林 昭博	—	—	34
	居酒屋「扇里」	大岩 禎子	—	—	3
カラー	株式会社ジオ	佐々木 進	40S	東京秋工会	19
	地鶏串焼割烹「音羽亭」	吉岡真理子	—	—	37
カラー	有限会社伊藤貴金属店	赤塚 京二	40SC	秋田本部	19
	株式会社斉藤建設	北埜 博	44A	東京秋工会	34
	会員制スナック「ボン」	北出 ちか	—	—	32
カラー	アルプスランドプロパティーズ	三平 俊悦	39A	東京秋工会	22
カラー	ランドオーナーオフィス	地主 勝己	37C	東京秋工会	19
カラー	株式会社KMツーリスト	伊藤 幹夫	46A	東京秋工会	19
	株式会社パルス	須田 次彦	51E	東京秋工会	27
	おあしす「あい」	高橋 恵	—	—	35
1/8	環境システム開発株式会社	加賀谷 健治	36E	東京秋工会	15
	株式会社ミモリ建設	三森 慶幸	40A	東京秋工会	14
	株式会社タイム	鎌田 国雄	37C	東京秋工会	15
	ギタリスト「岩見谷洋志」	岩見谷 洋志	41E	東京秋工会	15
	株式会社アドテクノ	佐々木 武	29M	東京秋工会	15
	居酒屋「どんたく」	小山 良子	—	—	32
カラー	株式会社北勢工業	太田 光重	31M	秋田本部	22
カラー	株式会社汎建築設計事務所	鈴木 誠一	38A	秋田本部	22
カラー	労働安全コンサルタント	小野 鐵雄	38C	東京秋工会	22
	ジャズスポット「J」	寺田 稔	—	—	37
	たまり場「廣島」	廣島 徹	49H	東京秋工会	37
カラー	三栄機材	細矢 育夫	31M	秋田本部	22
	株式会社ミイレー	米倉 伸三	—	—	32

以上35企業の皆様からご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

「アイシン産業」は、粉粒体機器の専門メーカーです



ロータリーバルブ



空気輸送3方ボールバルブ



フラップダンパー



ロータリーマグネット



解砕(ほくし)機



ナノジェットマイザー

「アイシンナノテクノロジーズ」の ジェットミル微粉碎システム、粉体原材料の微粉碎加工

- ナノレベルの粉碎が可能
- 粉碎品はシャープな粒度分布
- 低融点物質の粉碎が可能
- コンタミネーション防止
- 低コスト・高効率システム

受託微粉碎加工

- 微粉碎テストを承ります。
 - 貴社原材料の微粉碎加工を承ります。
- テスト装置・受託粉碎設備常設
お気軽にご相談下さい。

代表取締役 宮川 良一 (昭34機械科卒)

ISO9001:2000認証



粉粒体の供給・輸送・排出機器とジェットミル・受託粉碎



アイシン産業株式会社

〒334-0012 埼玉県鳩ヶ谷市八幡木3-16-21
TEL 048-285-7511 FAX 048-285-7788
URL <http://www.aishin-sangyo.co.jp>
E-mail info@aishin-sangyo.co.jp



(株)アイシンナノテクノロジーズ

〒334-0011 埼玉県鳩ヶ谷市三ツ和2-4-3
TEL 048-288-0022 FAX 048-286-6607
URL <http://www.aishin-nanotech.co.jp>
E-mail sales@aishin-nanotech.co.jp

30余年の信頼と実績のネットワーク

コンクリートの亀裂はビルのキズ早め早めの手当てが、
ビルの寿命を伸ばすコツです。

見積り無料

ローン取扱

雨もり補修工事

アスファルト、塗膜、シート、コーキング、FRP防水
止水工事、外壁調査診断、内外装工事、耐震補強工事

株式会社 トミヨシ商会
東京都知事許可(般-17)第48928号

代表取締役 富岡 陸男 (昭34 採鉱科卒)

東京都大田区南馬込5-33-7 ☎ 東京 (03) 3775-2203 (代) FAX 3774-3227

秋田大学(医療)病棟



鎌田工業株式会社

代表取締役社長 鎌田 満雄 (昭27土木科卒)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番8号

TEL 03-3667-6696(代) FAX 03-3667-8956

E-mail Kamata-m@mx2.alpha-web.ne.jp

営業所 秋田・仙台・青森・盛岡・山形・千葉・東京

東京秋工会会報

KANASA

金砂

2008

VOL.16

2008年8月9日発行

発行 東京秋工会本部・事務局
東京都港区三田3-2-3 万代三田ビル601
アルプスランドプロパティーズ(株)内
TEL: 03-5730-1471
FAX: 03-5730-1475
E-mail: mihira@alps-land.co.jp

発行責任者 三平 俊悦 (東京秋工会会長/39A)
編集長 加賀谷 健治 (東京秋工会副会長/36E)



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会東京支部

ホームページアドレス

<http://www.akiko-tokyo-dosokai.org/>